

菊池川水系河川維持管理計画

— 国管理区間 —

令和 4 年 3 月

九州地方整備局
菊池川河川事務所

まえがき

河川は、水源から山間部、農村部、都市部を流下し海に至る間において、それぞれ異なる地域特性を有している。また、土砂の移動や植生の変化等によって長期的に変化していくが、その変化は必ずしも一様なものではなく、洪水や渇水等の流況変化によって、時には急激に変化するという特性を有する。

さらに、河川の主たる管理対象施設である堤防は、延長が極めて長い線的構造物であり、一部の決壊によって一連区間全体の治水機能を喪失してしまうという性格を持ち、原則として土で作られているため材料品質が不均一であるという性格も有している。

上記のように河川は自然の作用等によって常に変化することから、堤防等の施設の整備や河道の掘削を実施しても、その維持管理が十分に行われなければ、年月を経るにしたがって、堤防等の施設の脆弱化や老朽化、河道の洗掘・土砂堆積・樹林化が進行するなど、洪水を安全に流下させることが困難となる。したがって平素から、河道や堤防等の施設を良好な状態に保全し、その本来の機能が発揮されるように計画的に維持管理する必要がある。

河川維持管理の目的は、上記に記述する洪水等に対する安全性の確保のほかに、安定した水利用の確保、河川環境の保全、適正な河川の利用の促進など多岐にわたっており、具体的な維持管理行為は、河道の流下能力の維持、堤防等の施設の機能維持、河川区域等の適正な利用、河川環境の整備と保全等に関して設定する「河川維持管理目標」が達せられるよう、河川の状態把握を行い、その結果に応じて対策を実施することが基本となる。

また、持続可能な維持管理を行っていくためには、効率化・高度化のための技術開発、コスト縮減等への取り組みが必要である。

なお、本計画は、令和3年3月時点までの測量データを基に令和4年3月に見直しを行った。河川の状態変化の把握とその分析・評価の繰り返し、河川維持管理の実績、出水等の履歴、他河川での経験等による知見の蓄積のほか、社会経済情勢の変化等に応じて、PDCAサイクルの体系に基づき適宜見直しを行う。

目次

1. 河川の概要	p 1
1. 1 河川及び流域の諸元	
1. 2 流域の自然的、社会的特性	
1. 3 河道特性、被災履歴、地形、地質、樹木等の状況	
1. 4 土砂の生産域から河口部までの土砂移動特性等の状況	
1. 5 生物や水量・水質、景観、河川空間の利用等管理上留意すべき環境の状況	
2. 河川維持管理上留意すべき事項	p 1 1
2. 1 堤防・護岸等の安全性の確保	
2. 2 水門等施設の維持管理	
2. 3 河道特性上の留意すべき事項	
2. 4 特定外来生物	
3. 河川の区間区分	p 1 3
4. 河川維持管理目標	p 1 4
4. 1 要注意箇所	
4. 2 河川維持管理目標	
4. 2. 1 河道の流下能力の維持	
4. 2. 2 施設の機能維持	
4. 2. 3 河川区域等の適正な利用	
4. 2. 4 河川環境の整備と保全	
5. 河川の状態把握	p 1 9
5. 1 基本データの収集	
5. 1. 1 水文・水理等観測	
5. 1. 2 測量	
5. 1. 3 河道の基本データ	
5. 1. 4 河川環境の基本データ	
5. 1. 5 観測施設、機器の点検	
5. 2 堤防点検等のための環境整備	
5. 3 河川巡視	

- 5. 3. 1 平常時の河川巡視
- 5. 3. 2 出水時の河川巡視
- 5. 4 点検
 - 5. 4. 1 出水期前、台風期、出水後の点検
 - 5. 4. 2 地震後の点検
 - 5. 4. 3 河川利用推進施設等の点検
 - 5. 4. 4 地域防災施設の点検
 - 5. 4. 5 その他の土木・建築施設の点検
 - 5. 4. 6 機械設備を伴う河川管理施設の点検
 - 5. 4. 7 樋門等構造物周辺堤防の詳細点検
 - 5. 4. 8 許可工作物の点検
- 5. 5 河川カルテ
- 5. 6 河川の状態把握の分析、評価

6. 具体的な維持管理対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 3 0

7. 地域連携等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 3 1

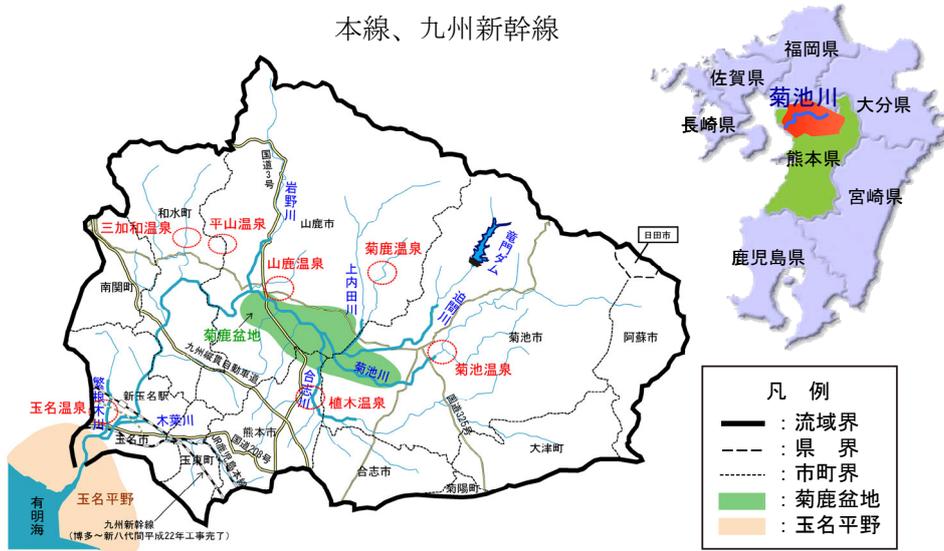
8. 効率化・改善に向けた取り組み・・・・・・・・・・・・・・・・ p 3 2

付図・付表・・・・・・・・・・・・・・・・ p 3 5

1. 河川の概要

1. 1. 河川及び流域の諸元

- 菊池川は、その源を熊本県阿蘇市深葉（標高 1,041m）に発し、迫間川、合志川、岩野川等を合わせながら菊鹿盆地を貫流し、山間部を流下したあと、玉名平野に出て木葉川、繁根木川を合わせ有明海に注ぐ
- 流域内の主要交通網 → 九州縦貫自動車道、国道3号、国道208号、JR 鹿児島本線、九州新幹線



区分	概要	備考
幹川流路延長	71km	
流域面積	996km ²	
流域市町村	7市5町 (R2.3現在)	菊池市、山鹿市、玉名市、阿蘇市、合志市、日田市、熊本市、南関町、和木町、玉東町、菊陽町、大津町
流域内人口	約20万人 ^{※1}	玉名市(66,782人) ^{※2} 、山鹿市(54,537人)、菊池市(48,167人) ^{※2}
支川数	69	

※1 流域内人口は平成26年河川現況調査 ※2 平成27年国勢調査

水系名	河川名	延長 (km)	合流箇所	備考
河川区間				
菊池川	菊池川	48.1	—	玉名出張所…山鹿市、和木町境界より下流 山鹿出張所…山鹿市、和木町境界より上流
	繁根木川	3.0	本川 6.0k付近	玉名出張所管理区間
	木葉川	1.8	本川 9.7k付近	〃
	岩野川	4.5	本川 30.4k付近	山鹿出張所管理区間
	合志川	10.1	本川 37.8k付近	〃
	迫間川	9.3	本川 39.6k付近	竜門ダム管理支所管理区間
	上内田川	2.3	迫間川 0.6k付近	山鹿出張所管理区間
	小計	79.1		
ダム区間				
菊池川	菊池川	0.30	—	竜門ダム管理支所管理区間
	迫間川	4.69	—	〃
	鳳来川	1.20	—	〃
	小計	6.19		
	合計	85.29		

【菊池川水系流域図】

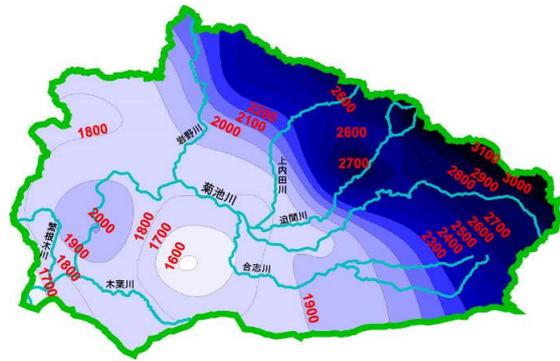
1. 2. 流域の自然的、社会的特性

(1) 気候及び降雨特性

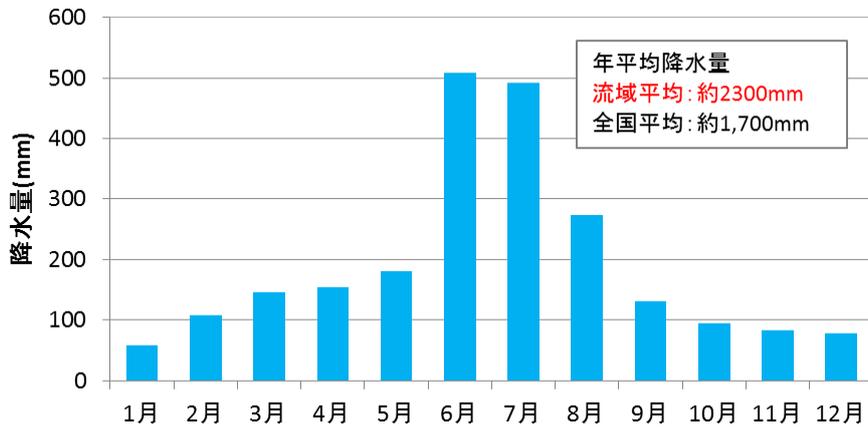
- 上流部 → 山地型気候、中下流部 → 内陸型気候
- 年間平均降水量 → 約 2,300mm (全国平均の約 1.3 倍、梅雨期の 6・7 月に集中)



【九州地方の気候区】



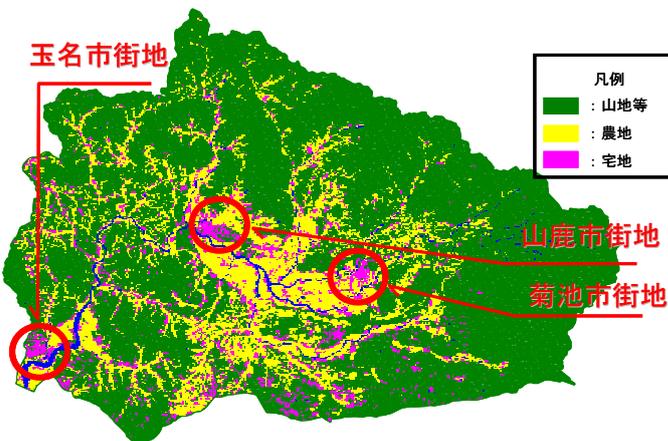
【年間降水量分布図 (H9~18 の平均値)】



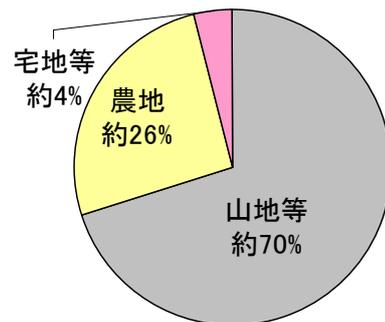
【流域平均月別降水量 (H11~27の平均値)】

(2) 土地利用状況

- 農地 → 盆地及び河川沿い一帯に分布
- 玉名、山鹿、菊池等の市街地 → 河川沿いに人口資産が集中



【土地利用図】

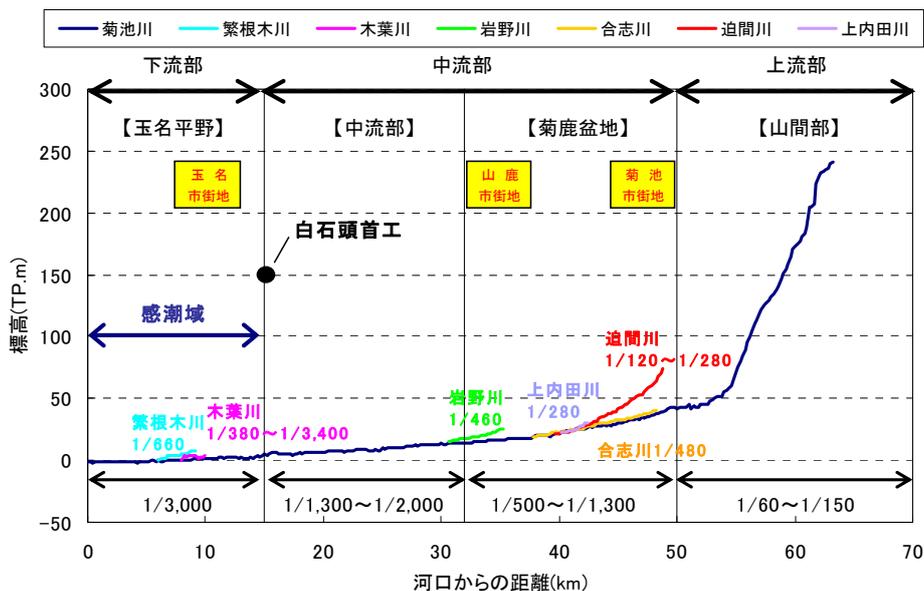


【土地利用の割合】

1. 3. 河道特性、被災履歴、地形、地質、樹木等の状況

(1) 河道特性

地形		河川名	区間距離	主な特徴	河床勾配		代表粒径 D60(mm)	セグメント		
下流部	玉名平野 平地	菊池川	0/000 ~ 14/400	<ul style="list-style-type: none"> ・有明海特有の干満差による潮位変動の影響が及ぶ ・沿川に人口資産が集積し、氾濫時の被害が甚大 ・高潮堤防の未整備箇所が存在 	1/3,000	1/2,900	1.47	極粗砂・砂分が主	2-2	
		繁根木川	0/000 ~ 3/000			1/660	1.81	シルトもあるが占める割合を僅か	2-2	
		木葉川	-0/287 ~ 1/000			1/3,350	0.81		2-2	
			1/000 ~ 1/800			1/380	8.04		2-1	
中流部①	中流部 山地	菊池川	14/400 ~ 19/000	<ul style="list-style-type: none"> ・堤防の未整備箇所が存在 ・竹を主とする樹木繁茂が顕著 	1/1,300 ~ 1/2,000	1/1,940	3.16	細レキ、中レキ	2-2	
			19/000 ~ 22/400			1/1,820	23.75		2-1	
			22/400 ~ 30/400			1/1,330	30.19		2-1	
中流部②	菊鹿盆地 平地(盆地)	菊池川	30/400 ~ 37/800	<ul style="list-style-type: none"> ・沿川に人口資産が集積し、氾濫時の被害が甚大 ・菊鹿盆地(山鹿市街地)は、急勾配の支川が集まり、洪水氾濫が起きやすい ・上流に固定堰があり洪水水位が上昇しやすい 	1/1,230	<ul style="list-style-type: none"> ・上流へいくに従い勾配が急になる ・38k付近より上流で勾配の変化が顕著 	1/480	22.00	中レキ、レキ、大レキ	2-1
			37/800 ~ 49/800				1/480	34.62		2-1
		岩野川	0/000 ~ 4/800	竹を主とする樹木繁茂が顕著	1/500 ~ 1/1,300		1/460	31.55		2-1
		合志川	0/000 ~ 10/400	<ul style="list-style-type: none"> ・中流に固定堰があり洪水水位が上昇しやすい ・土砂堆積が顕著 	1/480		26.80	2-1		
		迫間川	0/000 ~ 4/800	<ul style="list-style-type: none"> ・沿川に人口資産が集積し、氾濫時の被害が甚大 ・竹を主とする樹木繁茂が顕著 	1/280		33.05	1		
			4/800 ~ 9/300		1/120		61.16	1		
		上内田川	0/000 ~ 2/000		1/280		36.20	1		
		上流部	山間部 山地	菊池川	-		背後地に常緑広葉樹や落葉広葉樹で構成される山付林が広がる	1/60 ~ 1/150		-



【菊池川水系縦断図】

(2) 被災履歴

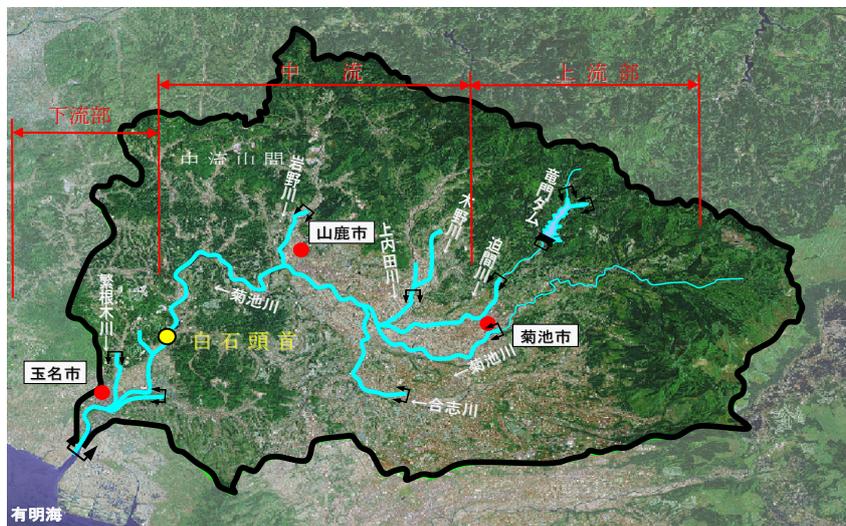
- 過去の大規模洪水 → ほとんどが梅雨期の6, 7月に発生
- 平成2年7月洪水 → 観測史上最大の洪水で甚大な浸水被害が発生

洪水発生年	原因	実測流量 (玉名地点)	被害状況
昭和10年6月(1935)	梅雨	不明	死者4名、床上浸水520戸、床下浸水3,077戸、堤防決壊43、道路決壊50、橋梁流出20、山崩れ数百ヶ所
昭和28年6月(1953)	梅雨	約3,000m ³ /s ^{注1)}	死者7名、負傷者328名、家屋全・半壊500戸、家屋流出72戸、床上・床下浸水15,335戸、田畑被害970ha
昭和37年7月(1962)	梅雨	約1,900m ³ /s	死者・行方不明者9名、負傷者6名、家屋全・半壊115戸、家屋流出2戸、床上浸水1,107戸、床下浸水5,282戸、田畑冠水4,887ha
昭和44年6月(1969)	梅雨	約1,600m ³ /s	人的被害2名、床上・床下浸水1,208戸、田畑冠水4,910ha、被災者概数4,710人
昭和54年6月(1979)	梅雨	約2,300m ³ /s	死者5名、床上・床下浸水738戸、田畑被害2,300ha
昭和55年7月(1980)	梅雨	約2,300m ³ /s	家屋全・半壊12戸、床上・床下浸水847戸、田畑被害4,278ha、被害箇所34箇所、道路被害352箇所、総氾濫面積15.2km ²
昭和55年8月(1980)	台風	約2,500m ³ /s	死者・行方不明者11名、負傷者1名、家屋全・半壊47戸、床上・床下浸水3,900戸、田畑冠水4,942ha
昭和57年7月(1982)	梅雨	約3,000m ³ /s	死者・行方不明者7名、負傷者12名、床上浸水1,157戸、床下浸水2,564戸、道路被害1,365箇所、田畑冠水4,575ha、橋梁流出14基、総氾濫面積27.97km ² 【激甚災害対策特別緊急事業採択】
平成元年9月(1989)	前線	約2,300m ³ /s	死者3名、家屋全・半壊12戸、床上・床下浸水537戸、田畑冠水794ha
平成2年7月(1990)	梅雨	約4,300m ³ /s	死者1名、負傷者5名、家屋全・半壊22戸、床上浸水1,159戸、床下浸水1,068戸、田畑冠水247ha
平成5年6月(1993)	梅雨	約2,800m ³ /s	負傷者1名、家屋全半壊2戸、床上・床下浸水164戸、田畑冠水571ha、河岸洗掘崩壊23箇所、総浸水面積約420ha
平成9年7月(1997)	梅雨	約2,400m ³ /s	床上・床下浸水27戸、水田冠水430ha、河岸洗掘崩壊8箇所、総浸水面積約430ha
平成11年9月(1999)	低気圧	約1,900m ³ /s	床上浸水25戸、床下浸水83戸、田畑冠水77ha
平成18年6月(2006)	梅雨	約1,800m ³ /s	床上浸水3戸、床下浸水2戸、水田冠水39ha、河岸洗掘5箇所
平成18年6月(2006)	梅雨	約2,700m ³ /s	床上浸水2戸、床下浸水2戸、河岸洗掘8箇所
平成21年6月(2009)	梅雨	約2,400m ³ /s	堤防浸食1箇所、内水42ha
平成23年6月(2011)	梅雨	約1,400m ³ /s	河岸浸食2箇所、内水5ha
平成24年7月(2012)	梅雨	約3,000m ³ /s	菊池川: 浸水面積492ha、床上浸水14戸、床下浸水63戸 迫間川: 浸水面積26ha、床上浸水0戸、床下浸水11戸 合志川: 浸水面積232ha、床上浸水76戸、床下浸水27戸

注1) 昭和28年の流量は雨量からの推算

(3) 地形

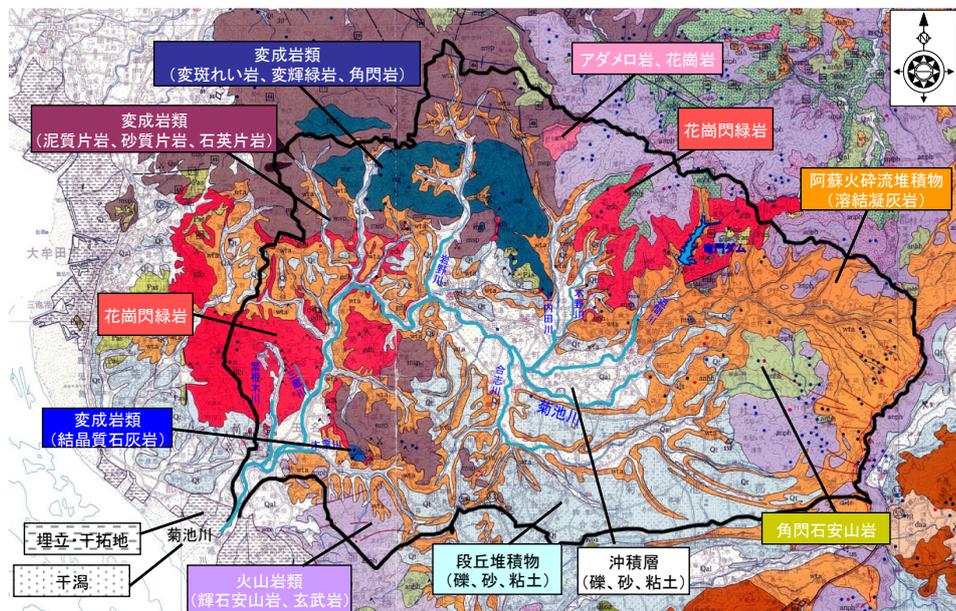
- 流域北半分 → 標高 700~800m の山岳地帯
- 流域南半分 → 緩やかな丘陵地帯
- 中 流 部 → 標高 200m 前後の山が連なる
- したがって、流域は東・北・南の三方を山で囲まれ、中央付近が盆地となっていることから、上流で降った雨が盆地に集まりやすい地形



【菊池川地形図】

(4) 地質

- 上流部 → 阿蘇外輪山から菊池台地を中心に溶結凝灰岩から成る阿蘇火砕流堆積物が広く分布
- 中流部 → 北側山地において変成岩類が広く分布
- 下流部 → 有明海の海退等により形成された沖積平野が広がる



(出典:九州地方土木地質図 1985 九州地方土木地質図編纂委員会)

【菊池川地質図】

(5) 樹木繁茂状況

- 菊池川中流、岩野川、迫間川、上内田川において樹木繁茂が顕著
- 洪水の流下阻害、施設損傷、河川巡視の支障、不法投棄等の要因となっている



【樹木繁茂状況(菊池川)】

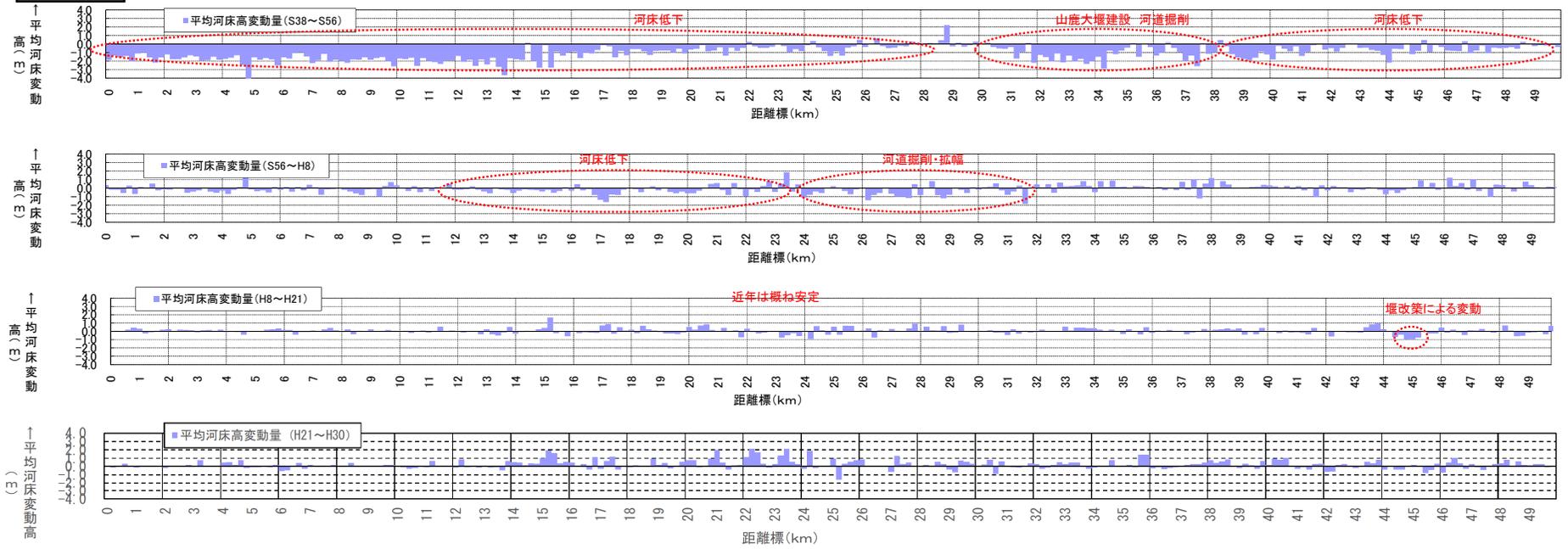


【樹木繁茂状況(迫間川)】

1. 4. 土砂の生産域から河口部までの土砂移動特性等の状況

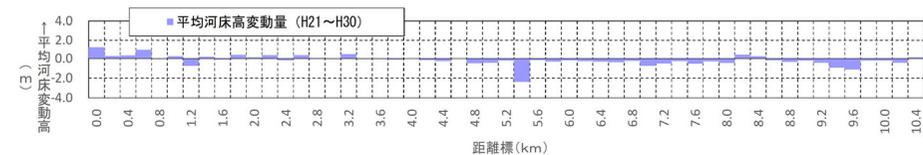
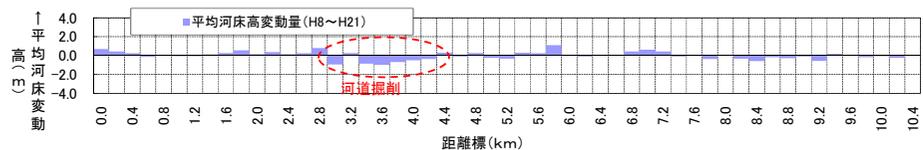
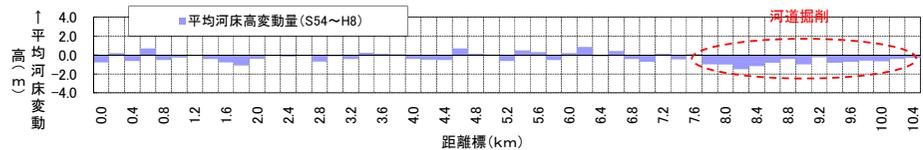
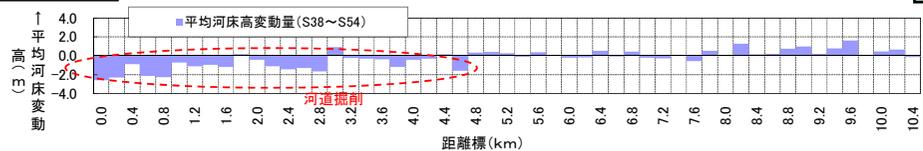
- 菊池川本川では約 2m 河床が低下
- 昭和 50 年代以降、河床の変動量は小さく、近年においては、河道掘削による影響区間を除き、河床は概ね安定

菊池川

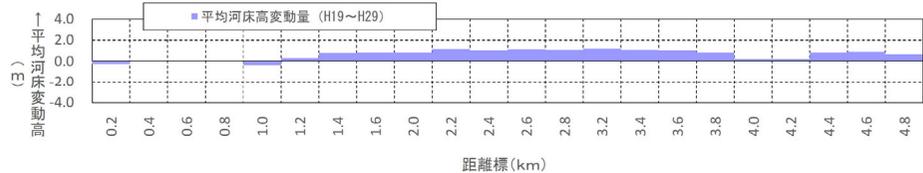
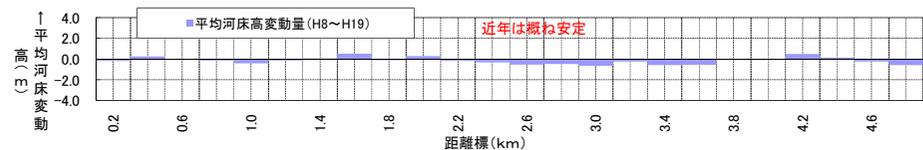
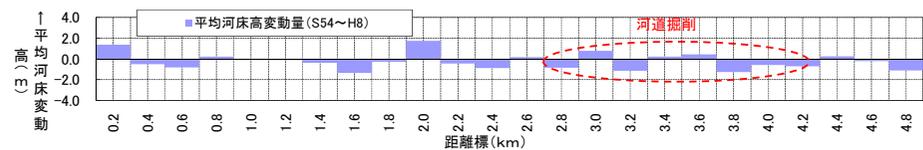
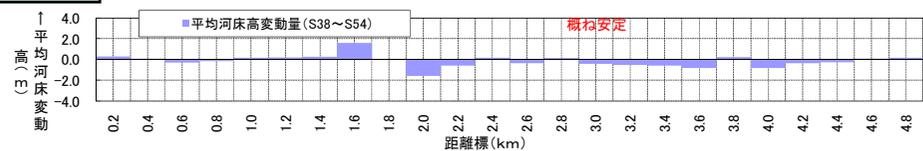


L

合志川



岩野川



1. 5. 生物や水量・水質、景観、河川空間の利用等管理上留意すべき環境の状況

(1) 生物環境の状況

- 瀬・淵が連続して点在しており、瀬はアユの産卵場となるなど魚類等の生息・繁殖場となっている
- 分田橋から山鹿大橋の間は「菊池川のチスジノリ発生地」として、国の天然記念物に指定されている
- 水際にはツルヨシ群落が分布し、緩やかな流れを生息場とする魚類や底生動物、鳥類の生息場となっている
- 河岸に分布する河畔林・山付き林は、鳥類の止まり木や陸上動物等の生息場となっている



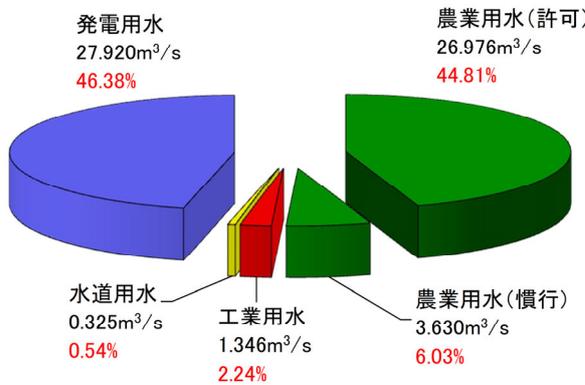
【瀬(菊池川 28k 付近)】



【山付き林(菊池川 19k 付近)】

(2) 河川水利用の現状

- 水利権量のほとんどが農業用水、発電用水（全体の約97%）
- 農業用水は、主に水稻に利用（かんがい面積約11,000ha）
 - 中流部 → 菊鹿盆地、菊池台地地区
 - 下流部 → 玉名平野地区
- 竜門ダム（支川迫間川）が平成14年3月に完成
-



水利使用目的	件数	水利権量 (m³/s)	かんがい面積 (ha)
農業用水	許可	26.976	9,516.0
	慣行	3.630	1,379.0
	小計	30.606	10,895.0
工業用水	許可	1.346	—
水道用水	許可	0.325	—
発電用水 ^{※1}	許可	27.920	—
合計	76	60.197	10,895.0

※1 発電用水は指定区間も含む

【菊池川水系における水利権】

(3) 渇水発生履歴

- 昭和50年代に多発しており、近年では平成6年に発生
- 平成6年以降の平成14年、平成17年、平成20～21年、平成29～30年も少雨状況であったが、竜門ダム完成の平成14年以降は、ダムからの補給により渇水被害が回避

【熊本県における渇水被害の経緯】

渇水発生年	被害概要
昭和42年 (1967)	県で水稲10,800ha、陸稲11,100ha
昭和53年 (1978)	県での被害面積は水陸稲2,008ha、野芝1,108ha、果樹5,588ha、飼料作物497haで、被害金額22億5663万円
昭和57年 (1982)	県北部地域で作付不能面積158ha、用水不足面積1,437ha
昭和59年 (1984)	県の水稲被害は、152ha
平成6年 (1994)	・県の農作物等の被害額は、約110億円 (果樹関係約70億円、野菜16億円、水陸稲等約8億円等) ・大牟田、荒尾工業地区で55日間、玉名平野地区で65日間の取水制限

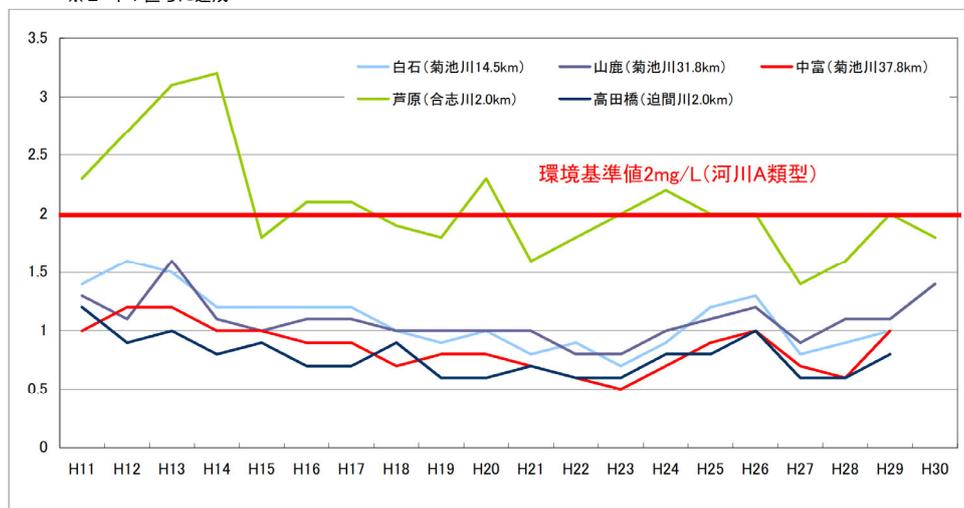
(4) 水質等の現状

- 一般的な水質指標 (BOD 75%値) において、本川及び迫間川では環境基準を満足
- 支川合志川においては、近年、基準達成となる年も見られる
- 河川の浄化と河川環境の保全を図ることを目的に、流域市町と住民代表からなる「菊池川流域同盟」が平成元年に結成
- 平成4年に全国初の流域単位の統一条例「菊池川を美しくする条例」が制定・施行

【環境基準類型指定状況】

水域の範囲	類型※1	達成期間※2	基準点	指定年月
菊池川上流 (木庭橋より上流)	河川AA	イ	木庭橋	昭和50年10月16日
菊池川下流 (木庭橋より下流)	河川A	イ	中富・山鹿・白石	
迫間川 (全域)	河川A	イ	高田橋	
合志川 (全域)	河川A	イ	芦原・藤巻橋	

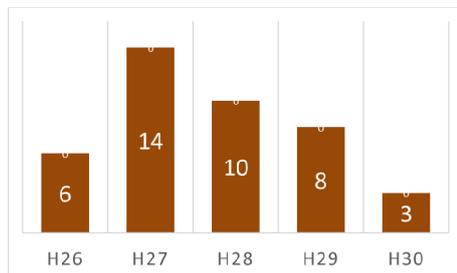
注) ※1 河川AA: BOD 1mg/L以下、河川A: BOD 2mg/L以下
 ※2 イ: 直ちに達成



【菊池川の各地点における水質の経年変化】

(5) 水質事故

- 流域内において約 8 件／年の水質事故が発生
- 水質事故原因の多くが油流出によるもの



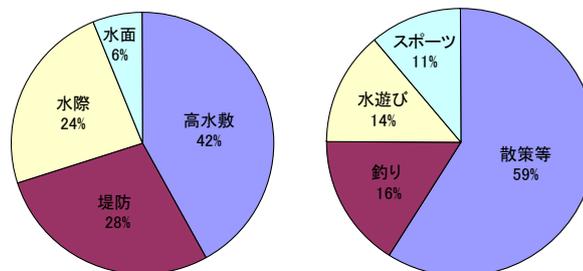
【過去5年間の水質事故発生状況】



【水質事故対策訓練の様子】

(6) 河川空間の利用

菊池川の河川敷は、山鹿灯籠まつり、菊池市コスモス祭、花火大会等のイベント会場、各種スポーツ、散策やサイクリングの場、畜産用の採草地として利用



【菊池川における年間の河川空間利用状況】

(7) 河川空間での不法行為

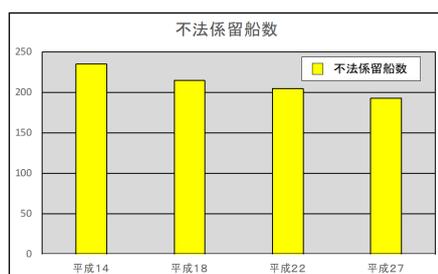
- ゴミの不法投棄については、一時期よりは減少したものの、未だに多い
- 不法係留船については、若干減少しているものの、近年はほぼ横ばい



【過去5年間の不法投棄件数】



【不法投棄の例】



【不法係留船の状況】



2. 河川維持管理上留意すべき事項

2. 1. 堤防・護岸等の安全性の確保

直轄管理区間の堤防整備は、完成堤防の割合が約 8 割（令和 2 年 3 月時点）であるものの、古くに築造されたものも多く、構成する土質が不明確であることに加え、降雨、浸透、洪水等の自然現象や車両乗り入れ等人為的な影響や時間経過に伴う老朽化により、堤防の寺勾配化・植生率の低下、堤防の変状や河岸洗掘等に伴う護岸の変状及び損傷している箇所があり、堤防弱体化による安全性の低下が懸念される。



【護岸変状状況】



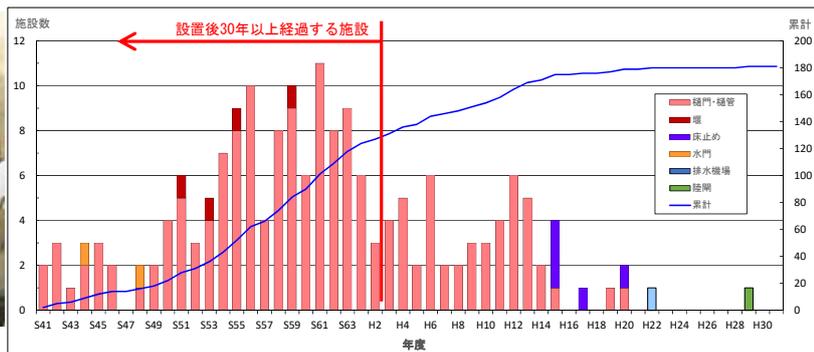
【堤防寺勾配状況】

2. 2. 水門等施設の維持管理

設置後 30 年以上経過する河川管理施設（全施設の約 50%）が多くなってきており、老朽化への対応が必要な設備も年々増加し、維持管理費用も増加することから、設備の信頼性を確保しつつ効率的・効果的な維持管理の実現が急務となっている。



【施設腐食状況】



2. 3. 河道特性

(1) 土砂堆積及び河床低下・深掘れ

菊池川中流及び合志川中上流の河道内においては、土砂堆積傾向にあり、流下断面の減少、水門等河川管理施設の操作への支障、また、堰上流の取水への悪影響が懸念される。

また、堆積した土砂により河道内の滯筋が蛇行し、河岸沿いを流下することによって、河岸側の河床低下や深掘れが進行している箇所があり、堤防及び護岸等施設の機能低下や機能損失が懸念される。



【土砂堆積状況（菊池川）】



【護岸基礎洗掘状況（菊池川）】

(2) 樹木繁茂

菊池川をはじめ、岩野川、迫間川、上内田川については、竹を主とする樹木が繁茂しており、洪水流下の阻害、洪水時の流倒木による施設や河川利用者への悪影響、また、成長した根茎の影響により、施設に変状等を及ぼす恐れがある。

特に、菊池川中流及び迫間川においては、洪水流下の阻害となっている樹木の繁茂が確認されるなど、治水機能の低下が懸念される。



【樹木繁茂状況（菊池川）】



【樹木繁茂状況（迫間川）】

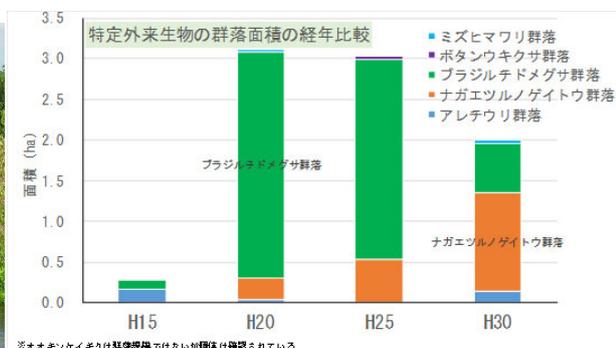
2. 4. 特定外来生物（植物）

菊池川水系には7種の特定外来種が侵入し、面積は15年間で1.4倍に増加している。ブラジルチドメグサ群落は減少したが、ナガエツルノゲイトウ群落が増えて増加しており、今後さらに分布が拡大する恐れがある。

両種は水際部の水面を広く覆うため、生態系への影響だけでなく、樋管操作等の維持管理にも支障が出る恐れがある。



【樋管出口を覆う状況】



【特定外来生物の群落面積の経年比較】

3. 河川の区間区分

河川維持管理の目標や実施内容を定めるにあたって、状態把握の頻度等は河川の区間毎の特性に応じたものとする必要があるため、河川特性や背後地の土地利用等を考慮して、重要区間をA区間、通常区間をB区間として、以下のとおり区間区分する。なお、区間区分図は付図1のとおりである。

区 分	区 間
重要区間（A区間）	菊池川 49.8 k m (0k000 ～ 49k800)
	繁根木川 3.0 k m (0k000 ～ 3k000)
	木葉川 1.8 k m (0k000 ～ 1k800)
	岩野川 4.8 k m (0k000 ～ 4k800)
	合志川 8.0 k m (0k000 ～ 8k000)
	迫間川 9.3 k m (0k000 ～ 9k300)
	上内田川 2.2 k m (0k000 ～ 2k200)
通常区間（B区間）	合志川 2.4 k m (8k000 ～ 10k400)

<参考：区間区分の判別の目安>

堤防	背後地	都市部、住宅密集地	山間部、農村部、中小河川
堤防高 4 m 以上	重要区間（A区間）	重要区間（A区間）	重要区間（A区間）
堤防高 4 m 未満			通常区間（B区間）

※ 堤防高とは、背後地盤と堤防天端の比高であり、堤防高 4 m を境界条件に区分した理由は、堤防への河川水浸透に伴う危険度の違いを考慮したものである。

4. 河川維持管理目標

時間の経過や洪水・地震等の外力、人為的な作用等によって、本来河川に求められる治水・利水・環境の目的を達成するための機能が低下した場合、これを適確に把握して必要な対策を行うための基準として、以下のとおり河川維持管理目標を設定する。

河川維持管理目標は、可能な限り定量化することが望ましいが、河川は自然公物であり未解明な事象が多く、知見やデータの蓄積は必ずしも十分ではない。このため、当面は限られた既存の知見に基づき可能な範囲で定量的な目標を設定するが、今後さらに知見を蓄積して一層の定量化に努める。

4. 1. 要注意箇所

長大な堤防や護岸、広大な河道を効率的かつ効果的に維持管理するために、向こう5年間の維持管理を見通して、特に注意が必要な箇所（以下、「要注意箇所」という。）を以下の基準にて付表 1-1~1-4 のとおり設定する。なお、要注意箇所は、現在の河川の状態とこれまでの経年変化等を考慮して設定したものであり、今後、維持管理をしていく中で必要に応じて適宜見直しを行う。

<参考：要注意箇所の設定基準>

① 河道

[土砂堆積、樹木繁茂]

河川整備計画の目標流量又は近年発生した最大規模の実績洪水流量が流下した場合に氾濫の危険性が高い箇所。なお、選定基準は以下の要件による。

区分	要件（土砂堆積）	要件（樹木繁茂）
要注意 (A)	推算水位※1がHWL又は氾濫危険水位を超え、経年的に土砂堆積が進行している箇所	推算水位※1がHWL又は氾濫危険水位を超え、樹木繁茂が水位上昇に影響している箇所
要注意 (B)	推算水位※1がHWL又は氾濫危険水位に接近し、経年的に土砂堆積が進行している箇所	推算水位※1がHWL又は氾濫危険水位に接近し、樹木繁茂が水位上昇に影響している箇所
要注意 (C)	推算水位※1がHWL又は氾濫危険水位に接近しているが、土砂堆積は進行していない箇所、又は近年において河道の掘削又は堆積土砂を除去した箇所	近年において樹木を伐採した箇所

※1：推算水位とは、河川整備計画の目標流量又は近年発生した最大規模の実績洪水流量が流下した時の計算で求められる水位をいう。

[河床低下、深掘れ]

河岸への滲筋の接近状況や最深河床高、最深河床高の経年変化等を踏まえ、河床低下が

進行することによって堤防や護岸等の崩壊の恐れがある箇所。なお、選定基準は以下の要件による。

区分	要件
要注意 (A)	滲筋（最深河床の発生位置）が河岸に接近し、護岸等前面の河床低下が構造物機能に支障をきたす恐れがある箇所（岩河床や山付き部は除く）
要注意 (B)	滲筋（最深河床の発生位置）が河岸に接近し、護岸等前面の河床低下が直ちに構造物機能に支障をきたす恐れは無いが、経年的に河床低下が進行している箇所（岩河床や山付き部は除く）
要注意 (C)	上記二つの何れかの要件に合致するが、根固めや水制等を設置するなどの措置を行っている箇所

② 堤防

堤防のり面の寺勾配化や表層の緩みが顕著な箇所、過去の点検等において変状が確認され経過監視が必要な箇所。

③ 河川管理施設（堤防を除く）

過去の点検等において変状が確認され、経過監視が必要な箇所。

④ 環境

水草外来植物等の異常繁茂が頻繁に見られる箇所、特定外来植物の生育が顕著な箇所。

4. 2. 河川維持管理目標

4. 2. 1. 河道の流下能力の維持

河道の流下能力維持については、向こう5年程度の維持管理を見通し、**付表2**のとおり要注意箇所において維持管理の目標となる流量（以下、「管理目標流量」という。）を設定して維持管理に努める。なお、この管理目標流量は、過去に再度災害防止策として実施した改修の目標流量、又は段階的に実施される河川改修により確保された流量とする。

4. 2. 2. 施設の機能維持

(1) 河道（河床低下、洗掘）

堤防や護岸等河川管理施設の機能維持については、向こう5年程度の維持管理を見通し、**付表3**のとおり要注意箇所において維持管理の目標となる最低河床高（以下、「管理河床高」という。）を設定して維持管理に努める。なお、この管理河床高は、既設の護岸や堤防の安定に支障を及ぼさない最低高さとする。

(2) 堤防

堤防が有すべき必要な機能を維持するために、高さや勾配などの形状、耐侵食機能、耐浸透機能に関して、以下のとおり堤防の維持管理の目標（以下「堤防管理目標」という。）を設定して維持管理に努める。

項目	目 標	
形状	高さ	完成堤の場合は計画堤防高、暫定堤の場合は施工時の目標高または最新の測量で得られた高さとし、各距離標毎の高さは「付表4」とおりとする。
	のり勾配	2割よりも緩やかな勾配とすることを基本とする。なお、寺勾配については、是正すること。
のり面被覆	裸地化のほか、耐侵食機能の低下や表層緩みをもたらす植生※1を占有させないことを基本とする。	
その他	樋門等構造物の周辺堤防に空洞が生じないようにする。	

※1：カラシナ、アブラナ、ダイコン、カラムシ、セイタカアワダチソウ、クローバー、クズ等の地被植物 等

注：上記の植物の他に、湿性植物の群落は、常時、溜まり水が生じている可能性が有るので注意が必要。

(3) 護岸、根固め、水制等

護岸や根固め、水制、荒籠は、以下の所要の機能が維持されることを目標として維持管理に努める。

護岸：堤防の機能を維持するための河岸侵食の防止

根固め：堤防の機能を維持するための護岸の安定、河岸近傍の河床低下防止

水制：堤防の機能を維持するための河岸侵食の防止、河岸近傍の河床低下防止

(4) 床止（固）め

床止（固）め（落差工、帯工含む）は、以下の所要の機能が維持されることを目標として維持管理に努める。なお、個別施設の機能及び諸元については「付表5」とおりとする。

床止（固）め：堤防の機能を維持するための護岸等構造物の安定、河床低下防止

(5) 堰、水門・樋門、排水機場

堰や水門・樋門、排水機場は、以下の所要の機能が維持されることを目標として維持管理に努める。なお、個別施設の機能及び諸元については「付表6」とおりとする。

堰：平常時の河川水位の維持、洪水時の洪水疎通能力の維持

水門・樋門：堤内地からの排水、堤内地への逆流防止

排水機場：水門・樋門の門扉を閉鎖したときの堤内地からの強制排水

(6) ダム

竜門ダム（付帯設備を含む）は、洪水調節、流水の正常な機能の維持、都市用水及びかんがい用水の補給など、ダムの持つ機能を確保し、操作規則に基づく操作が的確に行えるように維持管理に努める。なお、その維持管理の具体的内容については、別途定める。

このため、竜門ダムに関する具体の記載はしない。

(7) 河川利用推進施設

河川利用推進施設は、水辺における安全な利用を図るため、所要の機能が維持されることを目標として関係機関等と連携を図りながら維持管理に努める。なお、個別施設の機能及び諸元については付表7のとおりとする。

(8) 水文・水理観測施設

水文・水理観測施設は、対象とする水文観測データ（降水量、水位、流量等）が適確に観測できることを目標として維持管理に努める。なお、個別施設の機能及び諸元については付表8のとおりとする。

(9) 地域防災施設

菊池川地域防災施設は、洪水時の水防活動における待機場所や大規模な災害発生時の対策活動拠点としての機能のほか、防災情報や防災知識の普及、水辺における水難事故防止のための知識の普及、河川環境保全のため各種啓発、地域協働による維持管理の推進のための活動拠点、さらには、山鹿市における避難所として、所要の機能が確保されることを目標として維持管理に努める。

(10) その他施設・機器

階段、管理用通路、標識、防護柵、車止め、魚道、警報施設、河川管理用カメラ等のその他施設・機器は、それぞれの施設・機器が有する所要の機能が維持されることを目標として維持管理に努める。

4. 2. 3. 河川区域等の適正な利用

河川区域等が、治水・利水・環境の目的と合致して適正に利用されることを目標として、河川敷地の不法占用や不法行為等がなされないように維持管理に努める。

4. 2. 4. 河川環境の整備と保全

(1) 低水流量

かんがい用水や都市用水の安定した取水を確保し、魚類等の生息環境や水質、河川景観等の維持を図るために、以下の流量を管理上の最低必要流量（以下、「管理目標最小流量」という。）とする。

河川名	地点	流量	備考
菊池川	山鹿	かんがい期 約 16m ³ /秒 非かんがい期 約 8m ³ /秒	正常流量
菊池川	山鹿	約 8.7m ³ /秒	S31～H17 年間の平均渇水流量

(2) 水質

水質汚濁に係わる環境基準の類型指定等を踏まえ、以下の水質基準を管理上の目標水質（以下、「管理目標水質」という。）として維持管理に努める。

また、油の流出等の水質事故が発生した場合にあっては、水生生物の生息や水利用に影響が及ばないように関係機関と連携し、迅速かつ的確な対応に努める。

河川名	地点	対象区間	目 標	備 考
菊池川	中 富	31k800～51k800	BOD2.0mg/l 以下	A 類型
	山 鹿	14k400～31k800		
	白 石	0k000～14k400		
迫間川	高田橋	全区間		
合志川	芦 原	全区間		

(3) その他

希少種であるチスジノリやオヤニラミが生育生息できる環境を保全するとともに、生物多様性を確保するために、河川区域内における特定外来動植物の拡大を防ぐよう維持管理に努める。

5. 河川の状態把握

河川の状態把握は、基本データの収集、河川巡視、点検等により行うこととし、河川維持管理の目標、河川の区間区分、河道特性等に応じて、適切に実施する。

また、現状の河川管理施設の点検結果を評価し、管理の現況を地域に分かり易く公表ことに努める。

河川維持管理データベースシステム(RiMaDIS : River ManagementData Intelligent System 以下、「RiMaDIS」とする。)により、河川巡視・点検結果や河道基盤情報等の河川維持管理に関する基本情報を効果的に蓄積する。

5. 1. 基本データの収集

5. 1. 1. 水文・水理等観測

水文・水理観測や水質調査のデータは、治水・利水計画の検討や洪水時の水防活動に資する情報提供、河川管理施設の保全、渇水調整の実施等の基本となる重要なデータであることから、観測精度の向上に努めながら、河川砂防技術基準調査編や水文観測業務規程、河川水質調査要領等に基づき、以下のとおり観測及び調査を実施する。

(1) 雨量、河川水位観測等

項目	観測所	観測頻度
雨量	1 5 箇所	原則として、通年観測する。 なお、各観測所の諸元については付表 8 のとおりとする。
河川水位	1 5 箇所	
風向、風速	2 箇所	
気圧	1 箇所	
地下水	2 箇所	

(2) 流量観測

項目	観測所	実施基準等	備考
高水流量観測	1 1 箇所	原則として、水防団待機水位を上回った時とする。 なお、各観測所の諸元や観測実施の判断の目安とする基準観測所は付表 9 のとおりとする。	精度の高い H-Q 式を作成するために、可能な限り密な水位間隔で満遍なくデータが収集できるよう努める。
低水流量観測	1 1 箇所	原則として、月 3 回、年 3 6 回の観測とし、必要な範囲(水位)を観測する。	

(3) 水質調査

項目	観測所	実施基準等
水質調査	9箇所	各観測所の諸元や調査項目、調査回数は付表10のとおりとする。

(4) 洪水痕跡調査等

項目	実施基準等
洪水痕跡調査	原則として、避難判断水位を上回った時とする。 なお、調査実施の判断の目安とする基準観測所とその受け持ち区間は付表11のとおりとする。 【参考：区間毎の近年の調査年月は付表12のとおり。】
堤内地浸水調査 (写真撮影含む)	原則として、家屋の浸水被害が発生した時とする。
航空斜め写真撮影等	原則として、大規模な浸水被害が発生した時とする。 状況に応じてUAVや360度カメラ等を活用し被害状況の把握に努める。 【参考：区間毎の過去の調査年月は付表13のとおり。】

5. 1. 2. 測量

現況河道の流下能力や河床の変動状況、河川の平面形状の変化、河道内の樹林化等を把握するために、河川砂防技術基準調査編等に基づき、以下のとおり縦横断測量や地形測量を実施する。

項目	実施基準等
縦横断測量	原則として、点群測量により5年ごとに実施する。 ただし、平均年最大流量以上の出水があり、河道の変化が認められた時は、該当区間を対象として臨時に横断測量を行う。 なお、測量実施の判断の目安とする基準観測所とその受け持ち区間は付表11のとおりとする。 また、定期的に行う横断測量は、堤防管理にも使用できるよう河川区域の全幅測量とし、臨時に行う横断測量は、必要に応じて洪水後の変化が認められる低水路幅とすることを基本とする。 【参考：区間毎の過去の測量年月及び測量手法は付表14のとおり。】

地形測量	<p>平面図を作成するための地形測量は河川の平面形状の変化が認められる場合に行うこととし、地形変化が認められる区域については、1/2500 平面図の図化を行う。</p> <p>滞筋や砂州、河道内の樹木の変化を把握することも目的の一つであることから、縦横断測量の実施時期と整合を図る。</p> <p>【参考：区間毎の過去の測量年月は付表 1 5 のとおり。】</p>
------	--

5. 1. 3. 河道の基本データ

河道の特性や河道の変化を適確に把握するための河道の基本データ収集として、河川砂防技術基準調査編等に基づき、以下のとおり河床材料調査や河道内樹木調査を実施する。

項目	実施基準等
河床材料調査	<p>水位解析や河床変動解析等に使用することを目的としていることから、縦横断測量の時期と整合を図ることを基本とする。</p> <p>更に、出水によって、著しい河床高の変化や河床材料の変化が認められたときは、該当区間を対象として臨時に調査を行う。</p> <p>【参考：区間毎の過去の調査年月は付表 1 6 のとおり。】</p>
河道内樹木調査 砂州調査	<p>水位解析等に使用することを目的としていることから、原則として縦横断測量の時期と整合を図ることを基本とする。</p> <p>また、適宜、地上踏査による分布調査や密度調査、さらには防災ヘリコプターはるかぜ号や ALB、UAV 等を使用した上空からの巡視（状態把握）等により情報を補完する。</p> <p>【参考：区間毎の過去の調査年月は付表 1 7 のとおり。】</p>

5. 1. 4. 河川環境の基本データ

河川環境の整備と保全を目的とした河川維持管理を行うための河川環境の基本データ収集として、河川水辺の国勢調査マニュアルに基づき、以下のとおり河川水辺の国勢調査を実施する。具体の時期、項目等については付表 1 8 のとおりとする。

	調査頻度	備考
魚類	5年に1回実施	
底生生物	5年に1回実施	
植物	10年に1回実施	
両生類、哺乳類、爬虫類	10年に1回実施	
陸上昆虫類	10年に1回実施	
鳥類	10年に1回実施	
空間利用実態調査	5年に1回実施	平成24年度は実施しない
河川環境基図作成	5年に1回実施	

※植物調査時には、堤防の健全性の評価を目的とした堤防のり面植生の分布調査を実施し植生分布図を作成する。

5. 1. 5. 観測施設、機器の点検

水文・水理データや水質データを適正に観測するために、河川砂防技術基準調査編や電気通信施設点検基準（案）等に基づき、以下のとおり定期的に観測施設や機器の点検を実施する。なお、対象施設は付表8のとおりとする。

項目	観測所	点検頻度
雨量	15箇所	総合保守点検は年1回、定期点検は月1回とする。 なお、総合保守点検は、出水期に備えて4月から6月上旬までの間に行う。※電気通信施設の点検周期及び時期は、電気通信施設点検基準（案）に基づき行うものとする。 樹木の繁茂等により降水量、流量観測等に支障があるときは、必要に応じて伐開等を実施する。 観測計器については、気象業務法に基づく検定を受ける。 局舎等の建造物についても年1回点検を行う。
河川水位	15箇所	
風向、風速	2箇所	
気圧	1箇所	
地下水	2箇所	

5. 2. 堤防点検等のための環境整備

出水期前の堤防点検や台風期の堤防点検に支障がないように、それらの時期にあわせて堤防除草を年2回実施する。

なお、出水期前の堤防点検は11月から2月までの期間、台風期の堤防点検は7月下旬から9月までの期間に実施することから、堤防除草の時期は以下のとおりとする。

項目	実施時期
出水期前点検のための除草	原則として、10月～12月までの期間（前年）
台風期点検のための除草	原則として、6月～8月までの期間

5. 3. 河川巡視

5. 3. 1. 平常時の河川巡視

概括的に河川の状態を把握するために、重要区間（A区間）においては週2巡、通常区間（B区間）においては週1巡の頻度で、九州地方整備局平常時河川巡視規程に基づき、平常時の河川巡視を実施する。

なお、効率的かつ効果的な状態把握に努めるために、目的や時期、場所を特定して行う目的別巡視を以下のとおり実施する。

目的別巡視項目	実施時期	備考
不法取水	6月頃（しろかき期）	
不法占用	5月頃	

ごみ等の投棄	1 2 月頃、3 月頃	年末、年度末
堤防の状況	豪雨後、洪水後、地震後	
護岸・根固め、水制の状況	洪水後	
許可工作物の状況	洪水後	
親水施設等の状況	4 月頃、7 月頃	連休前、夏休み前
標識の状況	1 2 月頃	
河道の状況	洪水後	
季節的な自然環境の変化	3 月頃	菜の花の開花
河川の水位に関する状況	渇水時	瀬切れ
魚道の通水状況	渇水時、3 月頃（保全すべき対象魚の遡上時期）	
特定外来生物（ブラジルチドメグサ等）の繁茂状況	4 月頃	

5. 3. 2. 出水時の河川巡視

洪水や高潮時に河川管理施設等に変状が発生したときには、水防作業や緊急的な修繕等の適切な措置を講じる必要があることから、河川やその周辺の概括的な状態を迅速に把握するために、九州地方整備局出水時河川巡視規程に基づき、以下のとおり出水時の河川巡視を実施する。

実施基準等	把握する項目
<p>原則として、実施の判断の目安とする基準観測所において水防団待機水位を上回り、氾濫注意水位に達する恐れがあるときとする。</p> <p>また、原則として、最高水位に達した後に減水し、氾濫注意水位を再度上回る恐れがなくなるまで継続する。</p> <p>なお、実施の判断の目安とする基準観測所とその受け持ち区間は付表 1 1 のとおりとする。</p>	<p>① 堤防の状況</p> <p>② 洪水流の状況</p> <p>③ 河川管理施設等の状況</p> <p>④ 高水敷の状況</p> <p>⑤ 堤内地の浸水状況</p> <p>⑥ 水防作業状況</p> <p>⑦ 河川区域内における工事の状況</p>

5. 4. 点検

5. 4. 1. 出水期前、台風期、出水後等の点検

出水期前や台風期、出水後には、河道や河川管理施設の状態を適確に把握するために、徒歩による目視または計測機器等を使用して、堤防等河川管理施設及び河道の点検要領に基づき、以下のとおり点検を実施する。

(1) 出水期前の点検

区分		実施基準等
堤防	土堤	全箇所を対象として、原則として11月から2月までの期間に実施する。
	高潮堤防、特殊堤	
	樋門等構造物周辺の堤防	
河川管理施設	水門・樋門、堰、排水機場	なお、対象施設は付表5、6のとおりとする。
	床止め、落差工	
	低水護岸、根固め、水制	
河道	土砂堆積	要注意箇所を対象として、原則として11月から2月までの期間に実施する。
	河床低下、洗掘	
	樹木繁茂	

(2) 台風期の点検

区分		実施基準等
堤防	土堤	要注意箇所を対象として、原則として7月下旬から9月までの期間に、除草後速やかに実施する。
	高潮堤防、特殊堤	
	樋門等構造物周辺の堤防	
河川管理施設	水門・樋門、堰、排水機場	なお、対象箇所は付表1のとおりとする。
	床止め、落差工	
	低水護岸、根固め、水制	
河道	土砂堆積	
	河床低下、洗掘	
	樹木繁茂	

(3) 出水後の点検

区分		実施時期
堤防	土堤	原則として、避難判断水位を上回った区間において、減水後速やかに実施する。 なお、点検実施の判断の目安とする基準観測所とその受け持ち区間は付表11のとおりとする。
	高潮堤防、特殊堤	
	樋門等構造物周辺の堤防	
河川管理施設	水門・樋門、堰、排水機場	—

河道	床止め、落差工	原則として、平均年最大流量を上回った区間において、減水後速やかに実施する。 なお、点検実施の判断の目安とする基準観測所とその受け持ち区間は付表 1 1 のとおりとする。
	低水護岸、根固め、水制	
	土砂堆積	
	河床低下、洗掘	
	樹木繁茂	—

5. 4. 2. 地震後の点検

震度 4 以上の地震が発生したときには、大津波警報や津波警報、津波注意報が解除され安全を確認した後に、地震後の点検要領（九州地方整備局）に基づき以下の要件にて、直ちに河川管理施設の状態を把握するための一次点検及び二次点検を実施する。

一次点検とは、各施設の異常の有無とその状況について目視による外観点検とし、二次点検とは、各施設の異常の有無とその状況について詳細な外観点検と必要に応じて計測による点検を行うものである。

なお、点検実施の判断の目安とする地震観測地点は付表 1 9 のとおりし、対象施設は堤防のほか付表 5、6 に示す河川管理施設等とする。

実施基準等	実施内容等
震度 5 弱以上	一次点検及び二次点検を実施する。
震度 4 が発生し、かつ以下に該当する場合 イ. 出水により水防団待機水位を超え、氾濫注意水位に達する恐れがある場合 ロ. 直前に発生した地震または出水、もしくはその他の原因により既に河川管理施設または許可工作物が被災しており、新たな被害の発生が懸念される場合	一次点検を実施する。 なお、重大な被害が確認された場合には二次点検を実施する。
震度 4（上記のイ. ロ. に該当しない場合）	地震発生の当日または翌日（翌日が閉庁日の場合は次開庁日）に平常時の河川巡視により状態を把握する。 なお、重大な被害が確認された場合には二次点検を実施する。

5. 4. 3. 河川利用推進施設等の点検

河川利用は、利用者自らの責任において行われることが原則であるが、親水を目的として整備した施設については、利用者の安全を確保するために、利用が増加する時期を考慮し、原則として5月のゴールデンウィーク前と7月の夏休み前に点検を実施する。

点検は、施設占有者や利用者と合同にて行い、対象施設の利用状況や危険の発生する可能性について情報共有を図る。なお、対象施設は付表7のとおりとする。

5. 4. 4. 地域防災施設の点検

機器類については、年1回の頻度で実施する。建造物や設備等については、11月から2月までの期間において年1回の頻度で実施する。

5. 4. 5. その他の土木・建築施設の点検

階段等の土木施設については河川の出水前点検時に併せて実施する。上屋等の建造物については、11月から2月までの期間において年1回の頻度で実施する。

5. 4. 6. 機械設備・電気通信施設を伴う河川管理施設の点検

機械設備・電気通信施設を伴う河川管理施設（堰、水門・樋門、排水機場等）については、信頼性の確保と機能維持のために、機械設備、電気通信施設に対応した定期点検や運転時点検、臨時点検を実施する。

（1）機械設備の点検

機械設備については、以下のとおり点検を実施する。なお、点検内容の詳細については、「河川用ゲート設備点検・整備標準要領（案）」、「河川用ゲート設備点検・整備・更新検討マニュアル（案）」、「河川ポンプ設備点検・整備標準要領（案）」、「河川ポンプ設備点検・整備・更新検討マニュアル（案）」に準じるものとする。なお、個別施設の点検区分については、付表20のとおりとする。

<ゲート設備>

点検区分		点検頻度	点検内容
定期点検	月点検（管理運転点検）	点検頻度は設備の状況等により適宜判断する。	専門技術者による目視点検 ①設備各部の異常の有無 ②障害発生状況の把握 ③各部の機能確認 ④前回点検時以降の変化の有無 ※原則管理運転点検とするが、現場条件により操作不可な場合は目視点検とする。
	月点検（目視点検）	18回／年 出水期（6月～9月）：2回／月 非出水期（10月～5月）：1回／月	操作従事者による目視点検 ①設備各部の異常の有無 ②給油状況の確認 ③運転操作及び起動時の異常の有無
	年点検	出水期前（4月～5月）に1回	専門技術者による詳細点検 ①各部の詳細な点検及び計測
運転時点検		運転前、運転中、運転後に実施する。	操作従事者による目視点検 ①運転・操作開始時の障害の有無 ②運転・操作中および終了時の異常の有無や変化等の状況確認・動作確認 ※異常等が検知された場合は、専門技術者による保全整備を実施
臨時点検		地震、出水、落雷、その他要因により、施設・設備・機器に何らかの異常が発生した恐れが有る場合に速やかに実施する。	専門技術者による目視点検 ①設備全体の異常の有無

<排水機場(ポンプ)設備>

点検区分		点検頻度	点検内容
定期点検	月点検(管理運転点検)	点検頻度は設備の状況等により適宜判断する。	専門技術者による目視点検 ①設備各部の異常の有無 ②障害発生の状況の把握 ③各部の機能確認等 ④前回点検時以降の変化の有無 ※原則管理運転点検とするが、現場条件により操作不可な場合は目視点検とする。
	月点検(目視点検)	18回/年 出水期(6月～9月): 2回/月 非出水期(10月～5月): 1回/月	操作従事者による目視点検 ①設備各部の異常の有無 ②給油状況の確認 ③運転操作及び起動時の異常の有無
	年点検	出水期前(4月～5月)に1回	専門技術者による詳細点検 ①各部の詳細な点検及び計測
運転時点検		運転前、運転中、運転後に実施する。	操作従事者による目視点検 ①運転・操作開始時の障害の有無 ②運転・操作中および終了時の異常の有無や変化等の状況確認・動作確認 ※異常等が検知された場合は、専門技術者による保全整備を実施
臨時点検		地震、出水、落雷、その他要因により、施設・設備・機器に何らかの異常が発生した恐れがある場合に速やかに実施する。	専門技術者による目視点検 ①設備全体の異常の有無

(3) 電気通信施設の点検

電気通信施設については、機器・設備ごとに点検周期を定め、正常動作の確認を行うものとする。なお、詳細については、「電気通信施設点検基準(案)」に準じる。

5. 4. 7. 樋門等構造物周辺堤防の詳細点検

出水期前の堤防点検等において樋門等構造物周辺堤防の変状が認められた箇所については、優先順位を付けて10年に1回程度の頻度で「樋門等構造物周辺堤防点検要領」に準じて、連通試験等を含む詳細点検を実施する。なお、今後5年間で実施予定施設は付表21のとおりとする。

5. 4. 8. 許可工作物の点検

許可工作物については、毎年11月から5月までの期間内に、施設管理者による出水期前の点検がなされるよう適切に指導する。

施設管理者による点検結果については報告を求めるとともに、原則として、現地にて立会確認して情報の共有を図るとともに、必要に応じて助言・指導を行う。

なお、対象施設は、原則として暗渠等を除く全ての施設とし付表22のとおりとする。

5. 5. 河川カルテ

巡視や点検等によって得られた情報や工事履歴、措置履歴、被災履歴等の情報は、河川カルテに記録保存し、PDCAサイクルによる河川維持管理の一層の推進のために役立てる。

なお、河川カルテは、逐次更新と迅速な分析・評価が可能となるように RiMaDIS によりデータベース化を図る。

5. 6. 河川の状態把握の分析、評価

適切な維持管理対策を検討するため、河川巡視や点検による河川の状態把握等の結果を分析・評価する。評価した結果に基づき、措置方針を組織的に決定するとともに、必要に応じて関係者との情報共有を図る。なお、状況に応じて学識者等の助言を得るものとし、分析・評価や措置判断で得られた知見は、河川維持管理計画の見直し反映するとともに、計画や施工、管理にフィードバックするとともに、RiMaDIS に蓄積する。

区分	実施基準等
基本データの収集	水文・水理等観測データについては、異常値の有無について常に点検するとともに、水位等の統計データについては、半年毎に照査を実施する。 測量、河道の基本データを新たに収集したときには、河道の変化を把握するために傾向分析をする。なお、5年に1回の頻度で流下能力の確認や河床変動特性について詳細な分析評価を実施する。 河川環境の基本データを新たに収集したときには、異常な変化の有無について点検するとともに傾向分析をする。
河川巡視	平常時巡視の結果については、毎回、分析・評価し、措置方針については組織的に判断する。

点検	点検の結果については、毎回、過去からの傾向を含めて分析・評価し、措置方針については組織的に判断する。
----	--

6. 具体的な維持管理対策

河川維持管理の目標と状態把握の結果を照らし合わせて、本来河川に求められる治水・利水・環境の目的を達成するための機能が低下した場合、適切な対策や措置を実施する。その判断基準については、以下のとおりとする。

区分		対策実施の判断基準
河道の流下能力の維持	土砂堆積 樹木繁茂	要注意箇所において、管理目標流量を安全に流下させることができない恐れがあるとき
施設の機能維持	河床低下 河床洗掘	要注意箇所の河岸部の河床高が、管理河床高を下回る恐れがあり、護岸等の構造物の機能に支障をきたすとき
	堤防	堤防管理目標を満足せず、堤防の機能に支障をきたすとき
	その他	維持管理の目標を満足せず、機能に支障をきたすとき
河川区域等の適正な利用		維持管理の目標を満足せず、河川管理上支障をきたすとき
河川環境の整備と保全	低水流量	管理目標最小流量を下回り、安定した水利用や河川環境上支障をきたすとき
	水質	管理目標水質を下回り、河川環境上支障をきたすとき 水質事故が発生し、水利用や河川環境上支障をきたすとき
	その他	維持管理の目標を満足せず、河川管理上支障をきたすとき

なお、具体的な対策方法や措置方法については、総合的に判断したうえで、原則として以下の中から最適策を選択して実施する。

区分		対策方法、措置方法
河道の流下能力の維持	土砂堆積 樹木繁茂	堆積土砂の除去、樹木伐開等

施設の機能維持	河床低下 河床洗掘	床止（固）め設置、根固め設置、護岸基礎の根継ぎ、水制の設置、堆積土砂の除去、樹木伐開等
	堤防	盛土、置き換え、空洞の充填、法面補修（表層置き換え、芝張り）、特殊堤補修、樹木伐開、ドレーン工設置、止水矢板設置、天端舗装等
	その他	各種補修、交換、更新、補強等
河川区域等の適正な利用		指導、啓発、巡視強化、監督処分、塵芥処理等
河川環境の整備と保全	低水流量	巡視強化、情報収集、環境調査、濁水調整等
	水質	啓発、環境調査、流出物の回収等
	その他	駆除、保全措置等

7. 地域連携等

（1） 地域住民等の参加による河川清掃

河川敷地のゴミ拾いなど、地域住民等が主体となって実施されている清掃活動は、河川の美化だけではなく、海域へのゴミの流出抑制や河川愛護意識の啓発にも寄与していることから、さらに活動の輪が広がるように、自治体や企業、NPO等の住民団体等との連携を深めていく。

（2） 堤防の刈草や伐採木のリサイクル

堤防の除草において発生する刈草については、処理費用の縮減と環境への負荷軽減のために、畜産や果樹園の敷き草、堆肥の資材、飼料として提供しており、リサイクル率は100%に達しているが、さらにリサイクルが進むように、広報活動や受け渡し方の工夫等に努めていく。

（3） 排水ポンプの運転調整

洪水時に河川水位が上昇し、堤防決壊やその恐れが生じたときには、被害の防止又は軽減を目的として排水ポンプの速やかな停止等の運転調整が必要なため、常日頃からの連絡体制を整備しておく。

（4） 避難判断の参考となる情報の提供

洪水時の住民の円滑な避難等に資するために、ホットラインによる自治体首長への水位情報の提供、事務所ホームページによる防災情報の提供、携帯アラームメールの運用、危険度レベルを示す河川水位標識の設置等を行い、わかりやすい河川情報の提供に努める。

また、報道機関等の協力を得て、地上デジタルテレビ放送やケーブルテレビ放送、ラジオ放送等を通じた河川情報の提供に努める。

(5) 水辺の安全利用・河川環境に関する情報の提供

河川の水難事故を未然に防ぐことを目的として、子どもを対象とした水辺の安全利用知識の普及促進のための講習会をNPO等の住民団体と連携して実施する。また、河川環境に親しみを感じてもらうことを目的として、水生生物調査や環境学習等もNPO等の住民団体と連携して実施する。

(6) 水門等操作員の担い手の育成

洪水時の水門等の操作を適確に実施するために、毎年1回、操作員を対象とした講習会等を自治体と連携して実施する。また、サラリーマン化や高齢化の進展に伴い、今後、操作員の担い手が不足することを考慮し、個人による操作体制から、地域団体による共同操作体制への転換を図っていく。

(7) 学校等が行う水防災教育の支援

過去の水害や洪水時の避難など、水災害に関する基礎的な知識を普及促進させるために、河川に関する基礎的な知識や情報を提供し、学校等が行う防災教育を積極的に支援する。

8. 効率化・改善に向けた取り組み

(1) 定量的な基準による河道管理

土砂堆積、樹木繁茂に対する河道の流下能力の維持、河床低下や洗掘等に対する施設機能の維持のための河道管理については、一層の技術研鑽を図り、管理基準の定量化や閾値の明確化、精度向上等に努める。

(2) 定量的な基準による堤防管理

堤防の安定性や耐侵食性能、耐浸透性能を維持するための堤防管理については、一層の技術研鑽を図り、管理基準の定量化や閾値の明確化、精度向上等に努める。

(3) 再堆積しにくい掘削方法の追求

河道掘削を実施する場合には、流下能力の長寿命化による維持管理費用の縮減を図るために、再堆積しにくい掘削方法について、一層の技術研鑽を進める。

(4) 老朽構造物の適確な診断と長寿命化

水門・樋門、堰、排水機場等の老朽化が進行することを踏まえ、コンクリート部の診断基準や機械設備の傾向管理の手法、管理基準の定量化、閾値の明確化、精度向上等に努めるとともに、長寿命化のための対策工法の確立に努める。特に、完成後30年経過した施

設については、コンクリート標準示方書維持管理編に準じてコンクリート健全性を診断するための点検（コンクリート診断士による外観点検）を実施し、異常が認められたときには、必要に応じて詳細な診断調査を行うように努める。

（５） 非常時を想定したゲート設備の操作

洪水時操作の信頼性及び操作員の安全性の確保を目的として、排水機場は急激な水位上昇等により操作員の到着が間に合わない場合や、氾濫危険水位を上回る洪水により操作員が退避した場合等に活用する遠隔監視・操作の機能の実装を進める。また、樋門等は背後地の土地利用や洪水時操作を考慮しつつ操作員による操作を必要としない無動力ゲート（フラップゲート等）への転換を促進する。

（６） 河川維持管理のデータベース整備

河川カルテのほかにも、河川維持管理に関する各種情報の蓄積を図り、データに基づくPDCAサイクルによる河川維持管理を一層推進していくために、RiMaDISの機能改善に努める。

（７） 被災原因の究明と得られた知見の活用

堤防や河川構造物等が洪水の作用等によって被災したときには、被災の機構や原因の究明を行い、それによって得られた知見を復旧に反映させるとともに、今後の計画や設計に反映させる。

（８） 堤防被覆植生の長寿命化

堤防の被覆に使用する植生については、これまで「野芝」を採用してきたが、短期間で雑草に遷移して除草コストの増大や点検・巡視に支障が生じている。このため、被覆機能の持続性に優れる改良芝等を採用するなど、堤防の治水機能の維持や点検・巡視への支障の解消、除草コスト縮減を図るための取り組みを進める。

（９） 施設の操作周辺の土地利用や河川特性を踏まえた操作

水門・樋門、堰、排水機場等の操作については、河川改修の進捗や土地利用の変化等を踏まえて、常に効率的かつ効果的な操作となるように、必要に応じて適宜見直しを行う。

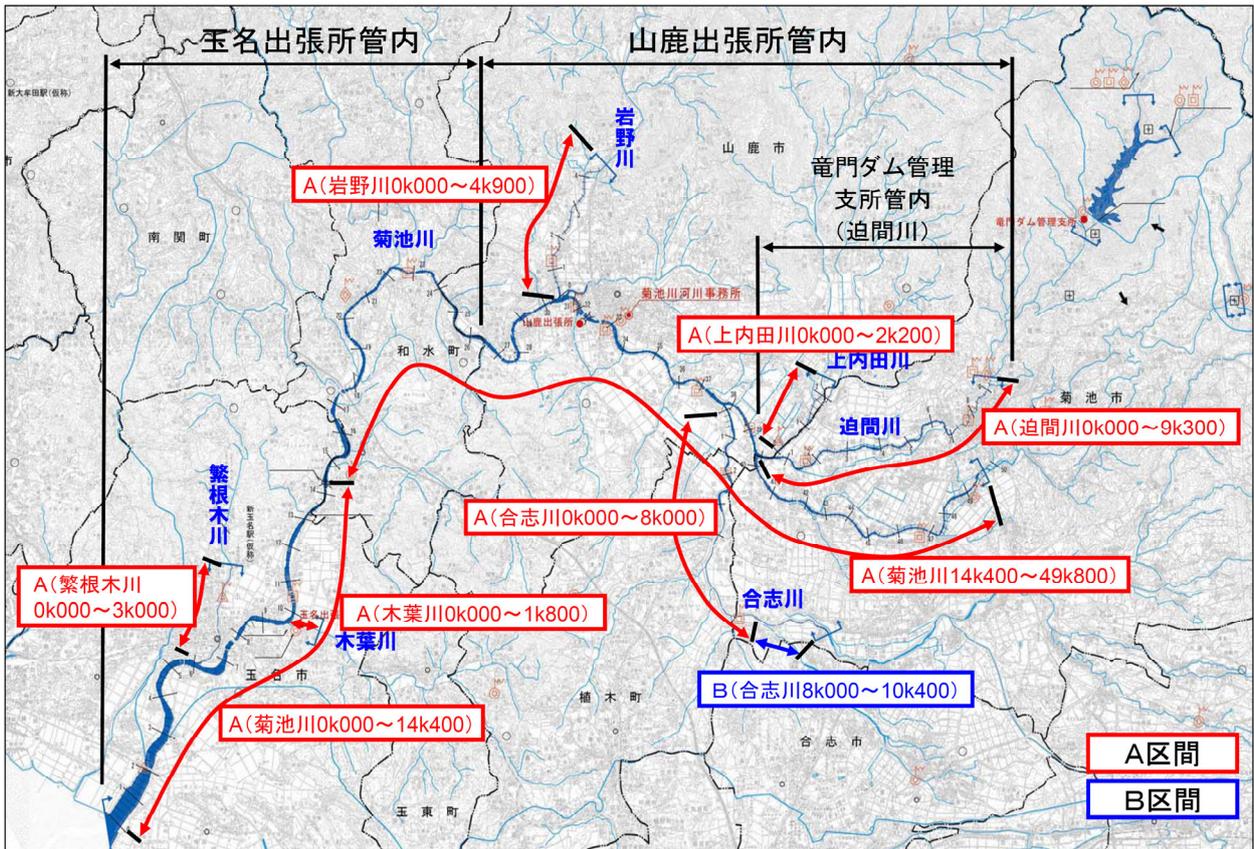
（１０） 河川標識の改善

河川区域に設置する標識（看板類）については、わかりやすさの向上と周辺景観との調和を図るために、ピクトグラム（図記号）の採用や重要度に応じて色により分類するなど、統一的なルールに従って設置または改善を図る。なお、河川区域に設置する標識は、必要最小限とする。

関連基準等

- ・ 河川砂防技術基準 維持管理編 令和 3 年 10 月
- ・ 河川砂防技術基準 (案) 調査編 平成 26 年 4 月 (令和 3 年 4 月の部分改定)
- ・ 水文観測業務規程 平成 29 年 3 月
- ・ 河川水質調査要領 平成 17 年 3 月
- ・ 電気通信施設点検基準 (案) 令和 2 年 11 月
- ・ 河川水辺の国勢調査マニュアル 平成 28 年 1 月
- ・ 九州地方整備局平常時河川巡視規程 令和 2 年 3 月
- ・ 九州地方整備局出水時河川巡視規程 平成 24 年 11 月
- ・ 堤防等河川管理施設及び河道の点検・評価要領 平成 31 年 4 月
- ・ 河道、堤防、施設の点検及びデータ管理の手引き 令和元年 12 月 (九州地方整備局版)
- ・ 地震後の点検要領 平成 26 年 9 月 (九州地方整備局版)
- ・ 河川用ゲート設備点検・整備標準要領 (案) 平成 28 年 3 月
- ・ 河川用ゲート設備点検・整備・更新検討マニュアル (案) 平成 27 年 3 月
- ・ 河川ポンプ設備点検・整備標準要領 (案) 平成 28 年 3 月
- ・ 河川用ポンプ設備点検・整備・更新検討マニュアル (案) 平成 27 年 3 月
- ・ 樋門等構造物周辺堤防詳細点検要領 平成 24 年 5 月

付図1



付表1-1 : 要注意箇所(堤防)

河川名	区間 (km~km)	左右岸	備考 (変状部位・内容等)	
菊池川	15/200	右	土提	半円コルゲートの腐食と土砂流出、それに伴う管理橋の陥没。
	18/400	右	土提	川表 表法面に排水不良による湿潤化。
	33/800	左	護岸	低水護岸ブロックの破損。
	32/800	左	土提	看板の破損、柱の腐食が激しいため倒壊の恐れあり
	41/200	左	護岸	低水部河岸浸食、水衝部、拡大浸食の恐れ、背後地は宅地、堤防防護ラインより堤防側位置での変状。
	45/400	右	護岸	連節ブロックの崩壊及び樹木の侵入により連節ブロックが乱れ。
	45/400	右	護岸	自然河岸の侵食(清水橋下の連節ブロック端部から)
岩野川	0/040	左	土提	鍋田橋下流側の高水敷に樹木が3本あり。
合志川	7/800	右	土提	水路転落防護柵の破損※応急処置済み
	7/800	左	土提	川裏排水路の側壁(ブロック積)の上部に段差が発生。
上内田川	1/400	右	土提	土羽護岸の侵食により法肩の崩れ。
	2/200	右	土提	川裏側の遊水公園内の埋設管の蓋が紛失、歩行者等の事故につながる恐れ
迫間川	7/800	左	護岸	石積の抜け落ち及び背面土の流出(3箇所)、背後地が宅地であり補修が必要

付表1-2 : 要注意箇所(施設)

河川名	位置 (km)	左右岸	施設名	備考 (変状部位・内容等)
菊池川	13/600	右	樋門・樋管	川表 取付水路の変状。
	34/600	右	樋門・樋管	管理橋の塗装剥離及び腐食、部分的に穴が開いている。
	34/600	右	樋門・樋管	水門裏の転落防護柵の塗装剥離及び腐食、部分的に穴が開いている。

付表1-3：要注意箇所(河道)

河川名	区 間	左右岸 ・中央	要 件 (土砂堆積、樹木繁茂、河床低下・深掘れ)	要注意区分 (A、B、C)	備 考
菊池川	0k200付近	右	河床低下・深掘れ	A	
	0k400付近	左	河床低下・深掘れ	B	
	1k000～ 1k200付近	左	河床低下・深掘れ	A	
	1k600付近	左	河床低下・深掘れ	A	
	2k600付近	左	河床低下・深掘れ	C	
	3k200～ 3k400付近	左	河床低下・深掘れ	C	
	3k600～ 3k800付近	右	河床低下・深掘れ	A	
	4k000～ 4k400付近	右	河床低下・深掘れ	C	
	4k800～ 5k200付近	右	河床低下・深掘れ	C	
	6k000付近	左	河床低下・深掘れ	C	
	6k400～ 6k600付近	左	河床低下・深掘れ	C	
	8k200～ 8k600付近	右	河床低下・深掘れ	C	
	9k400～ 9k600付近	左	河床低下・深掘れ	C	
	10k600付近	右	河床低下・深掘れ	C	
	10k800～ 11k000付近	右	河床低下・深掘れ	A	
	12k000～ 12k400付近	右	河床低下・深掘れ	A	
	13k200～ 13k800付近	左	河床低下・深掘れ	A	
	14k600～ 15k000付近	右	河床低下・深掘れ	A	
	15k400～ 15k600付近	左	河床低下・深掘れ	A	
	17k400付近	右	河床低下・深掘れ	A	
	18k600～ 18k800付近	左	河床低下・深掘れ	A	
	19k600付近	右	河床低下・深掘れ	C	
20k200付近	右	河床低下・深掘れ	A		
21k000付近	右	河床低下・深掘れ	C		
22k200付近	右	河床低下・深掘れ	C		

付表1-3：要注意箇所(河道)

河川名	区 間	左右岸 ・中央	要 件 (土砂堆積、樹木繁茂、河床低下・深掘れ)	要注意区分 (A、B、C)	備 考
菊池川	23k200付近	右	河床低下・深掘れ	C	
	23k400付近	右	河床低下・深掘れ	A	
	23k600付近	右	河床低下・深掘れ	C	
	23k800付近	左	河床低下・深掘れ	C	
	24k600付近	右	河床低下・深掘れ	C	
	26k400付近	右	河床低下・深掘れ	A	
	28k800付近	右	河床低下・深掘れ	A	
	33k800付近	左	河床低下・深掘れ	C	
	34k600付近	右	河床低下・深掘れ	C	
	35k200付近	右	河床低下・深掘れ	A	
	35k600付近	左	河床低下・深掘れ	C	
	36k400付近	右	河床低下・深掘れ	C	
	38k200付近	右	河床低下・深掘れ	A	
	38k800付近	左	河床低下・深掘れ	B	
	38k800付近	右	河床低下・深掘れ	A	
	40k600付近	左	河床低下・深掘れ	C	
	42k200付近	右	河床低下・深掘れ	C	
	44k400付近	右	河床低下・深掘れ	A	
	44k600付近	左	河床低下・深掘れ	A	
	45k200付近	右	河床低下・深掘れ	A	
	46k600付近	右	河床低下・深掘れ	C	
	47k600付近	左	河床低下・深掘れ	C	
	47k600付近	右	河床低下・深掘れ	B	
48k000付近	右	河床低下・深掘れ	A		
48k400付近	右	河床低下・深掘れ	C		

付表1-3：要注意箇所(河道)

河川名	区 間	左右岸 ・中央	要 件 (土砂堆積、樹木繁茂、河床低下・深掘れ)	要注意区分 (A、B、C)	備 考
木葉川	0k800付近	左	河床低下・深掘れ	A	
	1k000付近	左右	河床低下・深掘れ	A	
	1k200～ 1k400付近	左	河床低下・深掘れ	A	
	1k200～ 1k600付近	右	河床低下・深掘れ	C	
	1k600付近	左	河床低下・深掘れ	C	
	1k800付近	左右	河床低下・深掘れ	A	
岩野川	4k000～ 4k200付近	右	河床低下・深掘れ	C	
合志川	9k400付近	左右	河床低下・深掘れ	A	
迫間川	0k200～ 0k400付近	左	河床低下・深掘れ	A	
	2k200付近	右	河床低下・深掘れ	C	
	7k400付近	左	河床低下・深掘れ	A	
上内田川	0k800～ 1k000付近	左右	河床低下・深掘れ	A	
	1k400付近	右	河床低下・深掘れ	C	
	1k800付近	左	河床低下・深掘れ	A	
	1k800付近	右	河床低下・深掘れ	C	

付表1-3：要注意箇所(河道)

河川名	区 間	左右岸 ・中央	要 件 (土砂堆積、樹木繁茂、河床低下・深掘れ)	要注意区分 (A、B、C)	備 考
菊池川	15k400～ 15k800付近	中央	土砂堆積	B	
	16k200付近	中央	土砂堆積	B	
	16k600付近	右岸	樹木繁茂	B	
	16k800付近	左右	土砂堆積・樹木繁茂	B	
	17k000付近	右岸	樹木繁茂	B	
	17k200付近	右岸	土砂堆積・樹木繁茂	B	
	17k400付近	右岸	樹木繁茂	A	
	17k600付近	右岸	樹木繁茂	B	
	17k800～ 23k000付近	左右	樹木繁茂	A	
	23k200～ 23k600付近	左右	土砂堆積・樹木繁茂	A	
	23k800付近	左	樹木繁茂	A	
	24k000～ 24k200付近	左右	土砂堆積・樹木繁茂	A	
	24k400付近	左	樹木繁茂	A	
	24k600～ 27k800付近	左右	土砂堆積・樹木繁茂	A	
	28k000～ 28k400付近	左右	樹木繁茂	A	
	28k600～ 32k400付近	左右	土砂堆積・樹木繁茂	A	
	32k600～ 32k800付近	中央	樹木繁茂	A	
	33k000～ 33k200付近	中央	土砂堆積	A	
	33k400付近	中央	土砂堆積	B	
	33k600～ 33k800付近	中央	土砂堆積	C	
	45k000付近	中央	土砂堆積	B	
	45k600付近	中央	土砂堆積	C	
	47k200～ 47k400付近	中央	土砂堆積	C	
49k600～ 49k800付近	中央	土砂堆積	A		

付表1-3：要注意箇所(河道)

河川名	区 間	左右岸 ・中央	要 件 (土砂堆積、樹木繁茂、河床低下・深掘れ)	要注意区分 (A、B、C)	備 考
繁根木川	1k400～ 1k800付近	中央	土砂堆積	C	
	2k600～ 3k000付近	中央	土砂堆積	A	
岩野川	0k200～ 1k000付近	左右	土砂堆積・樹木繁茂	A	
	1k200～ 4k200付近	中央	土砂堆積	A	
	4k400付近	中央	土砂堆積	C	
	4k600～ 4k800付近	中央	土砂堆積	A	
合志川	3k200付近	中央	土砂堆積	B	
	4k000～ 4k200付近	中央	土砂堆積	C	
	4k400～ 6k400付近	中央	土砂堆積	A	
	6k600～ 7k800付近	中央	土砂堆積	C	
	8k200～ 8k400付近	中央	土砂堆積	B	
	8k600付近	中央	土砂堆積	C	
	9k000付近	中央	土砂堆積	C	
	10k000～ 10k400付近	中央	土砂堆積	C	
迫間川	8k000付近	中央	土砂堆積	B	
	8k200付近	中央	土砂堆積	A	
	8k400付近	中央	土砂堆積	B	
	8k800付近	中央	土砂堆積	B	

付表1-4 : 要注意箇所(環境)

河川名	区 間	左右岸	要 件	備 考
菊池川	0k000~49k000	左・右	特定外来植物(ブラジルチドメグサ等) の繁茂が頻繁に見られる区間	
繁根木川	0k000~1k500	左・右		
木葉川	0k000~1k800	左・右		
合志川	0k000~10k400	左・右		
迫間川	0k000~4k200	左・右		
上内田川	0k000~2k200	左・右		

付表2 : 管理目標流量

河川名	管理目標地点 距離標(km)	管理目標 流量(m ³ /s)	備考 (設定根拠等)
菊池川	0k000~9k600	3,800	整備計画流量相当
	9k800~17k400	3,600	整備計画流量相当
	17k600~22k400	3,500	整備計画流量相当
	22k400~30k400	3,300	整備計画流量相当
	30k600~31k600	2,300	整備計画流量相当
	31k800~37k800	2,200	整備計画流量相当
	38k000~39k600	1,700	整備計画流量相当
	39k800~49k800	950	整備計画流量相当
繁根木川	0k000~3k000	140	整備計画流量相当
木葉川	0k000~1k000	100	整備計画流量相当
	1k200~1k800	330	整備計画流量相当
岩野川	0k000~4k800	850	整備計画流量相当
合志川	0k000~6k800	700	整備計画流量相当
	7k000~8k200	650	整備計画流量相当
	8k400~10k400	550	整備計画流量相当
迫間川	0k000~0k400	700	整備計画流量相当
	0k600~9k200	230	整備計画流量相当
上内田川	0k000~2k200	490	整備計画流量相当

付表3 : 管理河床高

河川名	距離標 (km)	左右岸	管理河床高 (T.P.m)	要注意区分 (A、B、C)	備考 (設定根拠等)
菊池川	0k200	右	T.P. -2.44m	A	計画河床高-1.5m
	0k400	左	T.P. -2.40m	B	
	1k000 1k200	左	T.P. -2.25m T.P. -2.21m	A	
	1k600	左	T.P. -2.11m	A	
	2k600	左	T.P. -1.86m	C	
	3k200 3k400	左	T.P. -1.71m T.P. -1.66m	C	
	3k600 3k800	右	T.P. -1.61m T.P. -1.56m	A	
	4k000 4k200 4k400	右	T.P. -1.49m T.P. -1.45m T.P. -1.40m	C	
	4k800 5k000 5k200	右	T.P. -1.31m T.P. -1.27m T.P. -1.22m	C	
	6k000	左	T.P. -1.03m	C	
	6k400 6k600	左	T.P. -0.93m T.P. -0.88m	C	
	8k200 8k400 8k600	右	T.P. -0.43m T.P. -0.35m T.P. -0.28m	C	
	9k400 9k600	左	T.P. +0.05m T.P. +0.13m	C	
	10k600	右	T.P. +0.53m	C	
	10k800 11k000	右	T.P. +0.63m T.P. +0.73m	A	
	12k000 12k200 12k400	右	T.P. +1.14m T.P. +1.22m T.P. +1.30m	A	
	13k200 13k400 13k600 13k800	左	T.P. +1.65m T.P. +1.73m T.P. +1.81m T.P. +1.89m	A	
	14k600 14k800 15k000	右	T.P. +2.25m T.P. +2.35m T.P. +2.44m	A	
	15k400 15k600	左	T.P. +2.62m T.P. +2.68m	A	

付表3 : 管理河床高

河川名	距離標 (km)	左右岸	管理河床高 (T.P.m)	要注意区分 (A、B、C)	備考 (設定根拠等)
菊池川	17k400	右	T.P. +3.51m	A	計画河床高-1.5m
	18k600 18k800	左	T.P. +4.08m T.P. +4.17m	A	
	19k600	右	T.P. +4.56m	C	
	20k200	右	T.P. +4.84m	A	
	21k000	右	T.P. +5.22m	C	
	22k200	右	T.P. 5.78m	C	
	23k200	右	T.P. +6.24m	C	
	23k400	右	T.P. +6.33m	A	
	23k600	右	T.P. +6.41m	C	
	23k800	左	T.P. +6.49m	C	
	24k600	右	T.P. +6.87m	C	
	26k400	右	T.P. +8.03m	A	
	28k800	右	T.P. +9.80m	A	
	33k800	左	T.P. +13.35m	C	
	34k600	右	T.P. +14.09m	C	
	35k200	右	T.P. +14.60m	A	
	35k600	左	T.P. +14.96m	C	
	36k400	右	T.P. +15.63m	C	
	38k200	右	T.P. +17.36m	A	
	38k800	左	T.P. +18.34m	B	
	38k800	右	T.P. +18.34m	A	
40k600	左	T.P. +21.39m	C		
42k200	右	T.P. +24.18m	C		
44k400	右	T.P. +26.65m	A		
44k600	左	T.P. +27.01m	A		

付表3 : 管理河床高

河川名	距離標 (km)	左右岸	管理河床高 (T.P.m)	要注意区分 (A、B、C)	備考 (設定根拠等)
菊池川	45k200	右	T.P. +28.38m	A	計画河床高-1.5m
	46k600	右	T.P. +31.42m	C	
	47k600	左	T.P. +33.57m	C	
	47k600	右	T.P. +33.57m	B	
	48k000	右	T.P. +34.89m	A	
	48k400	右	T.P. +36.19m	C	
木葉川	0k800	左	T.P. +1.96m	A	
	1k000	左右	T.P. +2.18m	A	
	1k200 1k400	左	T.P. +2.27m T.P. +2.30m	A	
	1k200 1k400 1k600	右	T.P. +2.27m T.P. +2.30m T.P. +2.33m	C	
	1k600	左	T.P. +2.33m	C	
	1k800	左右	T.P. +2.36m	A	
岩野川	4k000 4k200	右	T.P. +20.17m T.P. +20.80m	C	
合志川	9k400	左右	T.P. +34.44m	A	
迫間川	0k200 0k400	左	T.P. +20.07m T.P. +20.27m	A	
	2k200	右	T.P. +24.43m	C	
	7k400	左	T.P. +52.13m	A	
上内田川	0k800 1k000	左右	T.P. +23.03m T.P. +23.55m	A	
	1k400	右	T.P. +24.87m	C	
	1k800	左	T.P. +26.49m	A	
	1k800	右	T.P. +26.49m	C	

付表4 : 堤防管理目標高

河川名	距離標 (km)	HWL (T.P.m)	計画堤防 高 (T.P.m)	左岸堤防 管理目標高 (T.P.m)	右岸堤防 管理目標高 (T.P.m)	備考	
						左岸	右岸
菊池川	0k000	3.70	7.00	7.00	7.00	計画堤防	計画堤防
	0k200	3.84	7.00	7.00	7.00	計画堤防	計画堤防
	0k400	3.95	7.00	6.87	7.00	現況堤防	計画堤防
	0k600	4.08	7.00	6.86	7.00	現況堤防	計画堤防
	0k800	4.20	7.00	6.86	7.00	現況堤防	計画堤防
	1k000	4.32	7.00	6.87	7.00	現況堤防	計画堤防
	1k200	4.44	7.00	6.87	7.00	現況堤防	計画堤防
	1k400	4.56	7.00	6.86	7.00	現況堤防	計画堤防
	1k600	4.68	7.00	7.00	7.00	計画堤防	計画堤防
	1k800	4.81	7.00	7.00	7.00	計画堤防	計画堤防
	2k000	4.93	7.00	7.00	5.10	計画堤防	現況堤防
	2k200	5.06	7.00	7.00	4.86	計画堤防	現況堤防
	2k400	5.18	7.00	7.00	5.88	計画堤防	現況堤防
	2k600	5.30	7.00	7.00	5.75	計画堤防	現況堤防
	2k800	5.43	7.00	7.00	5.78	計画堤防	現況堤防
	3k000	5.56	7.00	7.00	7.00	計画堤防	計画堤防
	3k200	5.68	7.00	7.00	7.00	計画堤防	計画堤防
	3k400	5.80	7.30	7.00	6.13	現況堤防	現況堤防
	3k600	5.93	7.43	7.18	6.62	現況堤防	現況堤防
	3k800	6.05	7.55	7.31	6.86	現況堤防	現況堤防
	4k000	6.18	7.68	7.68	7.43	計画堤防	現況堤防
	4k200	6.31	7.81	7.79	7.13	現況堤防	現況堤防
	4k400	6.44	7.94	7.60	7.33	現況堤防	現況堤防
	4k600	6.54	8.04	7.79	7.87	現況堤防	現況堤防
	4k800	6.66	8.16	8.16	7.32	計画堤防	現況堤防
	5k000	6.78	8.28	8.28	8.28	計画堤防	計画堤防
	5k200	6.90	8.40	8.40	8.38	計画堤防	現況堤防
	5k400	7.01	8.51	8.51	8.47	計画堤防	現況堤防
	5k600	7.13	8.63	8.63	8.63	計画堤防	計画堤防
	5k800	7.25	8.75	8.75	8.75	計画堤防	計画堤防
	6k000	7.38	8.88	8.88	8.88	計画堤防	計画堤防
	6k200	7.50	9.00	9.00	9.00	計画堤防	計画堤防
	6k400	7.62	9.12	9.12	9.12	計画堤防	計画堤防
	6k600	7.74	9.24	9.24	9.24	計画堤防	計画堤防
	6k800	7.86	9.36	9.36	9.36	計画堤防	計画堤防
	7k000	7.98	9.48	9.48	9.48	計画堤防	計画堤防
	7k200	8.08	9.58	9.58	9.58	計画堤防	計画堤防
	7k400	8.22	9.72	9.72	9.69	計画堤防	現況堤防
	7k600	8.34	9.84	9.84	9.84	計画堤防	計画堤防
	7k800	8.46	9.96	9.72	9.96	現況堤防	計画堤防
	8k000	8.58	10.08	10.08	10.08	計画堤防	計画堤防
	8k200	8.69	10.19	10.19	9.94	計画堤防	現況堤防
	8k400	8.80	10.30	10.30	10.30	計画堤防	計画堤防
	8k600	8.89	10.39	10.39	10.39	計画堤防	計画堤防
	8k800	8.98	10.48	10.48	10.48	計画堤防	計画堤防
	9k000	9.10	10.60	10.60	10.60	計画堤防	計画堤防
	9k200	9.21	10.71	10.48	10.71	現況堤防	計画堤防
	9k400	9.33	10.83	9.81	10.83	現況堤防	計画堤防
	9k600	9.44	10.94	10.40	10.94	現況堤防	計画堤防
	9k800	9.54	11.04	11.04	11.04	計画堤防	計画堤防
10k000	9.64	11.14	11.14	11.14	計画堤防	計画堤防	
10k200	9.74	11.24	11.24	11.24	計画堤防	計画堤防	
10k400	9.87	11.37	11.37	11.37	計画堤防	計画堤防	
10k600	9.97	11.47	11.47	11.47	計画堤防	計画堤防	

付表4 : 堤防管理目標高

河川名	距離標 (km)	HWL (T.P.m)	計画堤防 高 (T.P.m)	左岸堤防 管理目標高 (T.P.m)	右岸堤防 管理目標高 (T.P.m)	備考	
						左岸	右岸
菊池川	10k800	10.10	11.60	11.33	11.60	現況堤防	計画堤防
	11k000	10.22	11.72	11.72	11.72	計画堤防	計画堤防
	11k200	10.33	11.83	11.83	11.83	計画堤防	計画堤防
	11k400	10.46	11.96	11.96	11.96	計画堤防	計画堤防
	11k600	10.55	12.05	12.05	12.05	計画堤防	計画堤防
	11k800	10.66	12.16	12.16	12.16	計画堤防	計画堤防
	12k000	10.78	12.28	12.28	12.28	計画堤防	計画堤防
	12k200	10.88	12.38	12.38	12.38	計画堤防	計画堤防
	12k400	10.99	12.49	12.49	12.49	計画堤防	計画堤防
	12k600	11.11	12.61	12.61	12.61	計画堤防	計画堤防
	12k800	11.22	12.72	12.72	12.72	計画堤防	計画堤防
	13k000	11.33	12.83	12.42	12.83	現況堤防	計画堤防
	13k200	11.45	12.95	12.95	12.95	計画堤防	計画堤防
	13k400	11.56	13.06	13.06	13.06	計画堤防	計画堤防
	13k600	11.67	13.17	13.17	13.17	計画堤防	計画堤防
	13k800	11.77	13.27	13.27	13.27	計画堤防	計画堤防
	14k000	11.88	13.38	13.38	13.38	計画堤防	計画堤防
	14k200	11.99	13.49	13.49	13.49	計画堤防	計画堤防
	14k400	12.12	13.62	13.62	—	計画堤防	山付き
	14k600	12.24	13.74	13.74	—	計画堤防	山付き
	14k800	12.36	13.86	13.86	—	計画堤防	山付き
	15k000	12.48	13.98	13.98	—	計画堤防	山付き
	15k200	12.59	14.09	—	14.09	山付き	計画堤防
	15k400	12.70	14.20	14.20	14.20	計画堤防	計画堤防
	15k600	12.77	14.27	14.27	14.27	計画堤防	計画堤防
	15k800	12.87	14.37	14.37	14.37	計画堤防	計画堤防
	16k000	12.98	14.48	14.07	14.48	現況堤防	計画堤防
	16k200	13.09	14.59	14.59	—	計画堤防	山付き
	16k400	13.21	14.71	14.71	—	計画堤防	山付き
	16k600	13.33	14.83	14.83	—	計画堤防	山付き
	16k800	13.45	14.95	14.95	—	計画堤防	山付き
	17k000	13.57	15.07	15.07	—	計画堤防	山付き
	17k200	13.69	15.19	15.19	—	計画堤防	山付き
	17k400	13.79	15.29	15.29	—	計画堤防	山付き
	17k600	13.91	15.41	15.41	—	計画堤防	山付き
	17k800	14.02	15.52	15.52	15.52	計画堤防	計画堤防
	18k000	14.14	15.64	15.64	15.64	計画堤防	計画堤防
	18k200	14.25	15.75	15.75	15.75	計画堤防	計画堤防
	18k400	14.38	15.88	15.88	15.88	計画堤防	計画堤防
	18k600	14.49	15.99	15.99	15.99	計画堤防	計画堤防
	18k800	14.60	16.10	16.10	16.10	計画堤防	計画堤防
	19k000	14.73	16.23	—	16.23	山付き	計画堤防
19k200	14.83	16.33	—	16.33	山付き	計画堤防	
19k400	14.95	16.45	—	16.45	山付き	計画堤防	
19k600	15.08	16.58	16.58	16.58	計画堤防	計画堤防	
19k800	15.19	16.69	16.69	—	計画堤防	山付き	
20k000	15.31	16.81	16.81	—	計画堤防	山付き	
20k200	15.42	16.92	16.92	—	計画堤防	山付き	
20k400	15.54	17.04	17.04	—	計画堤防	山付き	
20k600	15.66	17.16	17.16	17.16	計画堤防	計画堤防	
20k800	15.77	17.27	17.27	17.27	計画堤防	計画堤防	
21k000	15.89	17.39	17.39	17.39	計画堤防	計画堤防	
21k200	16.01	17.51	17.51	17.51	計画堤防	計画堤防	
21k400	16.12	17.62	—	17.62	山付き	計画堤防	

付表4 : 堤防管理目標高

河川名	距離標 (km)	HWL (T.P.m)	計画堤防 高 (T.P.m)	左岸堤防 管理目標高 (T.P.m)	右岸堤防 管理目標高 (T.P.m)	備考	
						左岸	右岸
菊池川	21k600	16.23	17.73	—	17.73	山付き	計画堤防
	21k800	16.35	17.85	—	17.85	山付き	計画堤防
	22k000	16.47	17.97	17.97	—	計画堤防	山付き
	22k200	16.58	18.08	18.08	—	計画堤防	山付き
	22k400	16.68	18.18	18.18	—	計画堤防	山付き
	22k600	16.79	18.29	18.29	18.29	計画堤防	計画堤防
	22k800	16.90	18.40	18.40	18.40	計画堤防	計画堤防
	23k000	17.02	18.52	18.52	18.52	計画堤防	計画堤防
	23k200	17.14	18.64	17.42	18.64	現況堤防	計画堤防
	23k400	17.25	18.75	18.75	—	計画堤防	山付き
	23k600	17.35	18.85	18.85	18.53	計画堤防	現況堤防
	23k800	17.46	18.96	—	18.39	山付き	現況堤防
	24k000	17.57	19.07	—	18.53	山付き	現況堤防
	24k200	17.69	19.19	—	18.69	山付き	現況堤防
	24k400	17.82	19.32	—	18.42	山付き	現況堤防
	24k600	17.92	19.42	—	19.42	山付き	計画堤防
	24k800	18.04	19.54	16.25	—	現況堤防	山付き
	25k000	18.14	19.64	18.48	19.64	現況堤防	計画堤防
	25k200	18.25	19.75	19.75	19.75	計画堤防	計画堤防
	25k400	18.37	19.87	19.87	19.87	計画堤防	計画堤防
	25k600	18.46	19.96	—	19.96	山付き	計画堤防
	25k800	18.60	20.10	20.10	20.10	計画堤防	計画堤防
	26k000	18.71	20.21	20.21	20.21	計画堤防	計画堤防
	26k200	18.83	20.33	20.33	20.33	計画堤防	計画堤防
	26k400	18.96	20.46	20.46	20.46	計画堤防	計画堤防
	26k600	19.08	20.58	20.58	—	計画堤防	山付き
	26k800	19.19	20.69	20.69	20.69	計画堤防	計画堤防
	27k000	19.31	20.81	20.81	20.81	計画堤防	計画堤防
	27k200	19.43	20.93	20.93	20.93	計画堤防	計画堤防
	27k400	19.54	21.04	21.04	21.04	計画堤防	計画堤防
	27k600	19.67	21.17	21.17	21.17	計画堤防	計画堤防
	27k800	19.81	21.31	21.31	21.31	計画堤防	計画堤防
	28k000	19.90	21.40	21.40	21.40	計画堤防	計画堤防
	28k200	20.03	21.53	21.53	21.53	計画堤防	計画堤防
	28k400	20.14	21.64	21.64	21.64	計画堤防	計画堤防
	28k600	20.26	21.76	21.76	21.76	計画堤防	計画堤防
	28k800	20.38	21.88	21.88	—	計画堤防	山付き
	29k000	20.52	22.02	—	—	山付き	山付き
	29k200	20.62	22.12	—	22.12	山付き	計画堤防
	29k400	20.76	22.26	—	22.26	山付き	計画堤防
	29k600	20.89	22.39	—	22.39	山付き	計画堤防
	29k800	21.01	22.51	—	22.51	山付き	計画堤防
	30k000	21.10	22.60	—	22.60	山付き	計画堤防
	30k200	21.24	22.74	—	22.74	山付き	計画堤防
	30k400	21.35	22.85	—	22.85	山付き	計画堤防
	30k600	21.44	22.94	—	22.94	山付き	計画堤防
	30k800	21.52	23.02	—	23.02	山付き	計画堤防
	31k000	21.61	23.11	—	23.11	山付き	計画堤防
	31k200	21.70	23.20	—	23.20	山付き	計画堤防
	31k400	21.80	23.30	—	23.30	山付き	計画堤防
31k600	21.91	23.41	—	23.41	山付き	計画堤防	
31k800	21.97	23.47	23.47	23.47	計画堤防	計画堤防	
32k000	22.02	23.52	23.52	23.52	計画堤防	計画堤防	
32k200	22.15	23.65	23.65	23.65	計画堤防	計画堤防	

付表4 : 堤防管理目標高

河川名	距離標 (km)	HWL (T.P.m)	計画堤防 高 (T.P.m)	左岸堤防 管理目標高 (T.P.m)	右岸堤防 管理目標高 (T.P.m)	備考	
						左岸	右岸
菊池川	32k400	22.30	23.80	23.80	23.80	計画堤防	計画堤防
	32k600	22.44	23.94	23.94	23.94	計画堤防	計画堤防
	32k800	22.58	24.08	24.08	24.08	計画堤防	計画堤防
	33k000	22.72	24.22	24.22	—	計画堤防	山付き
	33k200	22.85	24.35	24.35	24.35	計画堤防	計画堤防
	33k400	23.00	24.50	24.50	24.50	計画堤防	計画堤防
	33k600	23.15	24.65	24.65	24.65	計画堤防	計画堤防
	33k800	23.30	24.80	24.80	24.80	計画堤防	計画堤防
	34k000	23.47	24.97	24.97	24.97	計画堤防	計画堤防
	34k200	23.63	25.13	25.13	25.13	計画堤防	計画堤防
	34k400	23.78	25.28	25.28	25.28	計画堤防	計画堤防
	34k600	23.93	25.43	25.43	25.43	計画堤防	計画堤防
	34k800	24.07	25.57	25.57	25.57	計画堤防	計画堤防
	35k000	24.21	25.71	25.71	25.71	計画堤防	計画堤防
	35k200	24.36	25.86	25.86	25.86	計画堤防	計画堤防
	35k400	24.50	26.00	26.00	26.00	計画堤防	計画堤防
	35k600	24.66	26.16	26.16	26.16	計画堤防	計画堤防
	35k800	24.82	26.32	26.32	26.32	計画堤防	計画堤防
	36k000	24.91	26.41	26.41	26.41	計画堤防	計画堤防
	36k200	25.06	26.56	26.56	26.56	計画堤防	計画堤防
	36k400	25.23	26.73	26.73	26.73	計画堤防	計画堤防
	36k600	25.35	26.85	26.85	26.85	計画堤防	計画堤防
	36k800	25.49	26.99	26.99	26.99	計画堤防	計画堤防
	37k000	25.65	27.15	27.15	27.15	計画堤防	計画堤防
	37k200	25.81	27.31	27.31	27.31	計画堤防	計画堤防
	37k400	25.95	27.45	27.45	27.45	計画堤防	計画堤防
	37k600	26.10	27.60	27.60	27.60	計画堤防	計画堤防
	37k800	26.24	27.74	27.74	27.74	計画堤防	計画堤防
	38k000	26.42	27.74	27.74	27.74	計画堤防	計画堤防
	38k200	26.59	27.79	27.79	27.79	計画堤防	計画堤防
	38k400	26.76	27.96	27.96	27.96	計画堤防	計画堤防
	38k600	26.92	28.12	28.12	28.12	計画堤防	計画堤防
	38k800	27.12	28.32	28.32	28.32	計画堤防	計画堤防
	39k000	27.29	28.49	28.49	28.49	計画堤防	計画堤防
	39k200	27.48	28.68	28.68	28.68	計画堤防	計画堤防
	39k400	27.66	28.86	28.86	28.81	計画堤防	現況堤防
	39k600	27.83	29.03	29.03	29.03	計画堤防	計画堤防
	39k800	28.07	29.27	29.27	29.27	計画堤防	計画堤防
	40k000	28.21	29.41	29.41	29.41	計画堤防	計画堤防
	40k200	28.39	29.59	29.59	29.59	計画堤防	計画堤防
	40k400	28.57	29.77	29.77	29.77	計画堤防	計画堤防
	40k600	28.75	29.95	29.95	29.95	計画堤防	計画堤防
40k800	28.93	30.13	30.13	30.13	計画堤防	計画堤防	
41k000	29.11	30.31	30.31	30.31	計画堤防	計画堤防	
41k200	29.29	30.49	30.49	30.49	計画堤防	計画堤防	
41k400	29.66	30.86	30.86	30.86	計画堤防	計画堤防	
41k600	30.07	31.27	31.27	31.27	計画堤防	計画堤防	
41k800	30.47	31.67	31.67	31.67	計画堤防	計画堤防	
42k000	30.84	32.04	32.04	32.04	計画堤防	計画堤防	
42k200	31.26	32.46	32.39	32.46	現況堤防	計画堤防	

付表4 : 堤防管理目標高

河川名	距離標 (km)	HWL (T.P.m)	計画堤防 高 (T.P.m)	左岸堤防 管理目標高 (T.P.m)	右岸堤防 管理目標高 (T.P.m)	備考	
						左岸	右岸
菊池川	42k400	31.60	32.80	32.61	32.80	現況堤防	計画堤防
	42k600	31.87	33.07	33.07	33.07	計画堤防	計画堤防
	42k800	32.09	33.29	33.29	33.29	計画堤防	計画堤防
	43k000	32.30	33.50	33.50	33.50	計画堤防	計画堤防
	43k200	32.53	33.73	33.73	33.73	計画堤防	計画堤防
	43k400	32.70	33.90	33.90	33.90	計画堤防	計画堤防
	43k600	32.89	34.09	34.09	34.09	計画堤防	計画堤防
	43k800	33.08	34.28	34.28	34.28	計画堤防	計画堤防
	44k000	33.26	34.46	34.46	34.46	計画堤防	計画堤防
	44k200	33.61	34.81	34.81	34.81	計画堤防	計画堤防
	44k400	33.96	35.16	35.16	35.16	計画堤防	計画堤防
	44k600	34.36	35.56	35.56	35.56	計画堤防	計画堤防
	44k800	34.87	36.07	—	36.07	山付き	計画堤防
	45k000	35.34	36.54	—	36.54	山付き	計画堤防
	45k200	35.70	36.90	36.90	36.90	計画堤防	計画堤防
	45k400	36.07	37.27	37.27	37.27	計画堤防	計画堤防
	45k600	36.55	37.75	37.75	37.75	計画堤防	計画堤防
	45k800	36.88	38.08	38.08	38.08	計画堤防	計画堤防
	46k000	37.25	38.45	38.45	38.45	計画堤防	計画堤防
	46k200	37.67	38.87	38.87	38.87	計画堤防	計画堤防
	46k400	38.05	39.25	39.25	39.25	計画堤防	計画堤防
	46k600	38.50	39.70	39.70	39.70	計画堤防	計画堤防
	46k800	38.95	40.15	40.15	40.15	計画堤防	計画堤防
	47k000	39.32	40.52	39.94	40.52	現況堤防	計画堤防
	47k200	39.70	40.90	40.17	40.90	現況堤防	計画堤防
	47k400	40.07	41.27	41.27	41.27	計画堤防	計画堤防
	47k600	40.47	41.67	40.16	41.67	現況堤防	計画堤防
	47k800	41.12	42.32	42.32	42.32	計画堤防	計画堤防
	48k000	41.75	42.95	42.95	42.95	計画堤防	計画堤防
	48k200	42.36	43.56	43.56	43.56	計画堤防	計画堤防
	48k400	43.01	44.21	44.21	44.21	計画堤防	計画堤防
	48k600	43.63	44.83	44.83	44.83	計画堤防	計画堤防
	48k800	44.22	45.42	45.42	45.42	計画堤防	計画堤防
49k000	44.79	45.99	45.99	45.99	計画堤防	計画堤防	
49k200	45.37	46.57	46.57	46.23	計画堤防	現況堤防	
49k400	46.02	47.22	47.22	47.22	計画堤防	計画堤防	
49k600	46.62	47.82	47.82	47.82	計画堤防	計画堤防	
49k800	47.25	48.45	48.45	48.45	計画堤防	計画堤防	
繁根木川	0k000	7.49	8.99	7.76	8.99	現況堤防	計画堤防
	0k200	7.49	8.99	8.84	8.99	現況堤防	計画堤防
	0k400	7.49	8.99	8.99	8.99	計画堤防	計画堤防
	0k600	7.49	8.99	8.99	8.99	計画堤防	計画堤防
	0k800	7.49	8.99	8.46	8.77	現況堤防	現況堤防
	1k000	7.49	8.99	8.99	8.41	計画堤防	現況堤防
	1k200	7.49	8.99	8.71	8.99	現況堤防	計画堤防
	1k400	7.49	8.99	8.99	8.99	計画堤防	計画堤防
	1k600	7.78	8.99	8.99	8.99	計画堤防	計画堤防
	1k800	8.11	9.31	9.31	9.31	計画堤防	計画堤防
	2k000	8.44	9.64	9.64	9.64	計画堤防	計画堤防
	2k200	8.74	9.94	9.94	9.94	計画堤防	計画堤防
	2k400	9.09	10.29	10.29	10.29	計画堤防	計画堤防
	2k600	9.47	10.67	10.67	10.67	計画堤防	計画堤防
	2k800	9.80	11.00	11.00	11.00	計画堤防	計画堤防
	3k000	10.20	11.39	11.39	11.39	計画堤防	計画堤防

付表4 : 堤防管理目標高

河川名	距離標 (km)	HWL (T.P.m)	計画堤防 高 (T.P.m)	左岸堤防 管理目標高 (T.P.m)	右岸堤防 管理目標高 (T.P.m)	備考	
						左岸	右岸
木葉川	0k000	8.98	10.48	10.48	10.48	計画堤防	計画堤防
	0k200	8.98	10.48	9.21	10.48	現況堤防	計画堤防
	0k400	9.09	10.48	9.21	10.48	現況堤防	計画堤防
	0k600	9.22	10.48	10.48	9.66	計画堤防	現況堤防
	0k800	9.36	10.48	9.29	10.34	現況堤防	現況堤防
	1k000	9.49	10.49	—	10.49	山付き	計画堤防
	1k200	9.53	10.53	10.53	10.53	計画堤防	計画堤防
	1k400	9.53	10.53	10.53	10.53	計画堤防	計画堤防
	1k600	9.53	10.53	10.53	10.53	計画堤防	計画堤防
	1k800	9.54	10.54	—	10.54	山付き	計画堤防
岩野川	0k200	21.45	22.89	22.89	22.89	計画堤防	計画堤防
	0k400	21.52	22.89	22.89	22.89	計画堤防	計画堤防
	0k600	21.60	22.89	22.89	—	計画堤防	山付き
	0k800	21.68	22.89	22.89	—	計画堤防	山付き
	1k000	21.76	22.89	22.89	—	計画堤防	山付き
	1k200	21.83	22.89	22.89	—	計画堤防	山付き
	1k400	21.95	22.95	22.95	—	計画堤防	山付き
	1k600	22.21	23.21	23.21	23.21	計画堤防	計画堤防
	1k800	22.40	23.40	23.40	23.40	計画堤防	計画堤防
	2k000	22.76	23.76	23.76	23.76	計画堤防	計画堤防
	2k200	23.03	24.03	24.03	24.03	計画堤防	計画堤防
	2k400	23.32	24.32	24.32	24.32	計画堤防	計画堤防
	2k600	23.63	24.63	24.63	24.63	計画堤防	計画堤防
	2k800	23.96	24.96	24.96	24.96	計画堤防	計画堤防
	3k000	24.32	25.32	25.32	25.32	計画堤防	計画堤防
	3k200	24.66	25.66	25.66	25.66	計画堤防	計画堤防
	3k400	25.00	26.00	26.00	26.00	計画堤防	計画堤防
	3k600	25.51	26.51	26.51	26.51	計画堤防	計画堤防
	3k800	26.03	27.03	27.03	27.03	計画堤防	計画堤防
	4k000	26.55	27.55	27.55	27.55	計画堤防	計画堤防
4k200	27.13	28.13	28.13	28.13	計画堤防	計画堤防	
4k400	27.78	28.78	28.78	28.78	計画堤防	計画堤防	
4k600	28.39	29.39	29.39	29.36	計画堤防	現況堤防	
4k800	28.90	29.90	29.90	29.90	計画堤防	計画堤防	
合志川	0k000	26.33	27.76	27.76	27.76	計画堤防	計画堤防
	0k200	26.40	27.79	27.79	27.79	計画堤防	計画堤防
	0k400	26.48	27.82	27.82	27.82	計画堤防	計画堤防
	0k600	26.56	27.85	27.85	27.85	計画堤防	計画堤防
	0k800	26.64	27.87	27.87	27.87	計画堤防	計画堤防
	1k000	26.70	27.92	27.92	27.92	計画堤防	計画堤防
	1k200	26.83	27.98	27.98	27.98	計画堤防	計画堤防
	1k400	26.98	27.98	27.98	27.98	計画堤防	計画堤防
	1k600	27.13	28.13	28.13	28.13	計画堤防	計画堤防
	1k800	27.29	28.29	28.29	28.29	計画堤防	計画堤防
	2k000	27.43	28.43	28.43	28.43	計画堤防	計画堤防
	2k200	27.59	28.59	28.59	28.59	計画堤防	計画堤防
	2k400	27.76	28.76	28.76	28.76	計画堤防	計画堤防
	2k600	27.89	28.89	28.89	28.89	計画堤防	計画堤防
	2k800	28.03	29.03	29.03	29.03	計画堤防	計画堤防
	3k000	28.17	29.17	29.17	29.17	計画堤防	計画堤防
	3k200	28.31	29.31	29.31	29.31	計画堤防	計画堤防

付表4 : 堤防管理目標高

河川名	距離標 (km)	HWL (T.P.m)	計画堤防 高 (T.P.m)	左岸堤防 管理目標高 (T.P.m)	右岸堤防 管理目標高 (T.P.m)	備考	
						左岸	右岸
合志川	3k400	28.66	29.66	29.66	29.66	計画堤防	計画堤防
	3k600	28.98	29.98	29.98	29.98	計画堤防	計画堤防
	3k800	29.33	30.33	30.33	30.33	計画堤防	計画堤防
	4k000	29.69	30.69	30.69	30.69	計画堤防	計画堤防
	4k200	29.98	30.98	30.98	30.98	計画堤防	計画堤防
	4k400	30.31	31.31	31.31	31.31	計画堤防	計画堤防
	4k600	30.68	31.68	31.68	31.68	計画堤防	計画堤防
	4k800	31.05	32.05	32.05	32.05	計画堤防	計画堤防
	5k000	31.39	32.39	32.39	32.39	計画堤防	計画堤防
	5k200	31.75	32.75	32.75	32.75	計画堤防	計画堤防
	5k400	32.08	33.08	33.08	33.08	計画堤防	計画堤防
	5k600	32.43	33.43	33.43	33.43	計画堤防	計画堤防
	5k800	32.76	33.76	33.76	33.76	計画堤防	計画堤防
	6k000	33.11	34.11	34.11	34.11	計画堤防	計画堤防
	6k200	33.46	34.46	34.46	34.46	計画堤防	計画堤防
	6k400	33.81	34.81	34.81	34.81	計画堤防	計画堤防
	6k600	34.16	35.16	35.16	35.16	計画堤防	計画堤防
	6k800	34.51	35.51	35.51	35.51	計画堤防	計画堤防
	7k000	34.86	35.86	35.86	35.86	計画堤防	計画堤防
	7k200	35.21	36.21	36.21	36.21	計画堤防	計画堤防
	7k400	35.56	36.56	36.56	36.56	計画堤防	計画堤防
	7k600	36.03	37.03	37.03	37.03	計画堤防	計画堤防
	7k800	36.53	37.53	37.53	37.53	計画堤防	計画堤防
	8k000	37.01	38.01	38.01	38.01	計画堤防	計画堤防
	8k200	37.51	38.51	38.51	38.51	計画堤防	計画堤防
	8k400	37.99	38.99	38.99	38.99	計画堤防	計画堤防
	8k600	38.47	39.47	39.47	39.47	計画堤防	計画堤防
	8k800	38.95	39.95	39.95	39.95	計画堤防	計画堤防
	9k000	39.42	40.42	40.42	40.42	計画堤防	計画堤防
	9k200	39.84	40.84	40.84	40.84	計画堤防	計画堤防
9k400	40.24	41.24	41.24	41.24	計画堤防	計画堤防	
9k600	40.73	41.73	41.73	41.73	計画堤防	計画堤防	
9k800	41.23	42.23	42.23	42.23	計画堤防	計画堤防	
10k000	41.63	42.63	42.63	42.63	計画堤防	計画堤防	
10k200	42.21	43.21	43.21	43.21	計画堤防	計画堤防	
10k400	42.70	43.70	43.70	43.70	計画堤防	計画堤防	
迫間川	0k000	27.95	29.15	29.15	29.15	計画堤防	計画堤防
	0k200	28.00	29.20	29.20	29.20	計画堤防	計画堤防
	0k400	28.05	29.25	29.25	29.25	計画堤防	計画堤防
	0k600	28.10	29.30	29.30	29.30	計画堤防	計画堤防
	0k800	28.16	29.36	29.36	29.36	計画堤防	計画堤防
	1k000	28.23	29.43	29.43	29.43	計画堤防	計画堤防
	1k200	28.28	29.48	29.48	29.48	計画堤防	計画堤防
	1k400	28.66	29.86	29.86	29.86	計画堤防	計画堤防
	1k600	29.08	30.28	30.18	30.28	現況堤防	計画堤防
	1k800	29.52	30.72	30.72	30.72	計画堤防	計画堤防
	2k000	29.97	31.17	31.17	31.17	計画堤防	計画堤防
	2k200	30.67	31.87	31.87	31.87	計画堤防	計画堤防
	2k400	31.38	32.58	32.58	32.58	計画堤防	計画堤防
	2k600	31.97	33.17	33.17	33.17	計画堤防	計画堤防
	2k800	32.65	33.85	33.85	33.85	計画堤防	計画堤防
	3k000	33.33	34.53	34.53	34.53	計画堤防	計画堤防
	3k200	34.13	35.33	35.33	35.33	計画堤防	計画堤防
	3k400	34.75	35.95	35.95	35.95	計画堤防	計画堤防

付表4 : 堤防管理目標高

河川名	距離標 (km)	HWL (T.P.m)	計画堤防 高 (T.P.m)	左岸堤防 管理目標高 (T.P.m)	右岸堤防 管理目標高 (T.P.m)	備考	
						左岸	右岸
迫間川	3k600	35.57	36.77	36.77	36.77	計画堤防	計画堤防
	3k800	36.38	37.58	37.58	37.58	計画堤防	計画堤防
	4k000	37.26	38.46	38.46	38.46	計画堤防	計画堤防
	4k200	38.10	39.30	39.30	39.30	計画堤防	計画堤防
	4k400	39.00	40.20	40.20	40.20	計画堤防	計画堤防
	4k600	39.91	41.11	41.11	41.11	計画堤防	計画堤防
	4k800	40.59	41.79	41.79	41.79	計画堤防	計画堤防
	5k000	41.51	42.71	42.71	42.71	計画堤防	計画堤防
	5k200	42.38	43.58	43.58	43.58	計画堤防	計画堤防
	5k400	43.35	44.55	44.55	44.55	計画堤防	計画堤防
	5k600	44.67	45.87	45.87	45.87	計画堤防	計画堤防
	5k800	45.99	47.19	47.19	47.02	計画堤防	現況堤防
	6k000	47.25	48.45	48.45	—	計画堤防	山付き
	6k200	48.58	49.78	49.78	—	計画堤防	山付き
	6k400	50.13	51.33	51.33	51.33	計画堤防	計画堤防
	6k600	51.34	52.54	52.54	52.54	計画堤防	計画堤防
	6k800	52.50	53.70	53.70	53.70	計画堤防	計画堤防
	7k000	53.71	54.91	54.91	54.91	計画堤防	計画堤防
	7k200	55.42	56.62	—	56.62	山付き	計画堤防
	7k400	56.63	57.83	—	57.83	山付き	計画堤防
	7k600	57.84	59.04	—	59.04	山付き	計画堤防
	7k800	59.77	60.97	60.32	60.97	現況堤防	計画堤防
	8k000	61.10	62.30	62.30	62.30	計画堤防	計画堤防
	8k200	62.43	63.63	—	63.63	山付き	計画堤防
	8k400	63.77	64.97	—	—	山付き	山付き
	8k600	66.85	68.05	—	—	山付き	山付き
	8k800	69.92	71.12	—	—	山付き	山付き
	9k000	73.92	75.12	—	—	山付き	山付き
9k200	77.92	79.12	—	—	山付き	山付き	
9k300	86.16	87.36	—	—	山付き	山付き	
上内田川	0k000	28.48	29.68	29.68	29.68	計画堤防	計画堤防
	0k200	28.91	30.11	30.11	30.11	計画堤防	計画堤防
	0k400	29.35	30.55	30.55	30.55	計画堤防	計画堤防
	0k600	29.78	30.98	30.98	30.98	計画堤防	計画堤防
	0k800	30.20	31.40	31.40	31.40	計画堤防	計画堤防
	1k000	30.63	31.83	31.83	31.83	計画堤防	計画堤防
	1k200	31.06	32.26	32.26	32.26	計画堤防	計画堤防
	1k400	31.87	33.07	33.07	33.07	計画堤防	計画堤防
	1k600	32.68	33.88	33.38	33.88	現況堤防	計画堤防
	1k800	33.49	34.69	34.22	34.69	現況堤防	計画堤防
	2k000	34.30	35.50	35.50	35.50	計画堤防	計画堤防
	2k200	35.08	36.28	36.28	36.28	計画堤防	計画堤防

付表5 : 床止め

河川名	施設名	位置 (km)	備 考
繁根木川	永徳寺床止	0.580	
岩野川	鍋田床止	0.560	
合志川	分田床止	-0.100	
上内田川	袋田床止	-0.100	
迫間川	高田床止	0.700	

付表6-1 : 堰

河川名	施設名	位置 (km)	堰長 (m)	ゲート天端高 (T.P.m)	備 考
菊池川	山鹿大堰	31.960	86.0	16.25	兼用／熊本県(堰管理橋)
	加恵堰	42.405	87.6	28.100	土砂吐きのみ河川管理施設

付表6-2 : 水門

河川名	施設名	位置 (km)	左右岸	ゲート断面 (ヨコ(m)×タテ(m)×連数)	備 考
菊池川	寺田水門	9.740	左	15.00×4.84×1 15.00×4.30×1	
	菰入水門	42.700	右	9.00×5.10×2	

付表6-3 : 樋門・樋管

河川名	施設名	位置 (km)	左右岸	樋管断面 (ヨコ(m)×タテ(m)×連数)	備考
菊池川	塩永排水樋管	3.700	左	1.20×1.40×1	
	牟田排水樋管	4.300	左	1.00×1.00×1	
	葭原排水樋管	4.600	左	0.60×0.60×1	
	永徳寺排水樋管	6.210	右	1.50×1.50×1	
	高瀬排水樋管	7.490	右	1.50×1.50×1	
	裏川排水樋門	8.050	右	5.00×3.00×2	玉名排水機場の自然排水
	秋丸排水樋管	8.670	右	1.60×1.60×1	
	白羽根排水樋管	10.150	左	2.00×2.00×2	
	元玉名第1排水樋管	11.980	右	1.00×1.00×1	
	竹下排水樋管	12.000	左	1.20×1.20×1	
	元玉名排水樋管	12.550	右	1.50×1.50×1	
	青木排水樋管	12.650	右	2.50×2.25×1	
	三蔵川樋門	13.080	右	5.10×3.20×3	
	溝上排水樋管	13.705	右	1.75×1.50×1	
	松坂排水樋管	14.040	左	2.50×2.25×2	
	長田川排水樋管	14.410	右	2.50×2.50×1	
	月田第1排水樋管	15.200	右	2.50×2.50×1	
	月田第2排水樋管	16.080	右	1.50×1.25×1	
	大江田排水樋管	16.600	左	2.25×2.25×1	
	藤田排水樋管	17.460	左	2.75×3.00×1	
	内田排水樋管	17.510	右	2.00×1.75×2	
	長小田第1排水樋管	17.650	右	2.25×2.25×1	
	長小田第2排水樋管	18.350	右	2.00×2.25×1	
	竈門第2排水樋管	19.960	左	1.80×2.00×1	
	江栗第1排水樋管	20.435	右	1.50×1.50×1	
	江栗第2排水樋管	20.729	右	1.25×1.25×1	
	江栗第3排水樋管	20.890	右	1.25×1.25×1	江栗排水機場の自然排水及び吐出部
	江栗第4排水樋管	21.024	右	1.50×1.50×1	
	江栗第5排水樋管	21.266	右	2.50×2.75×1	
	下津原第1排水樋管	22.150	左	2.25×2.00×1	
	下津原第2排水樋管	22.600	左	1.00×1.00×1	
	菰田第1排水樋管	22.950	右	1.00×1.00×1	
	菰田第2排水樋管	23.150	右	1.00×1.00×1	
	菰田第3排水樋管	23.616	右	1.50×1.50×1	
	椿井第1排水樋管	23.935	右	1.25×1.50×1	
	椿井第2排水樋管	24.340	右	3.00×3.00×1	
椿井第3排水樋管	25.100	右	2.00×2.00×1		
焼米大屋排水樋管	26.026	左	2.50×2.50×1		
村の下排水樋管	26.460	右	2.00×2.00×1		
坂田排水樋管	26.800	左	1.75×1.75×1		
西牧第1排水樋管	26.805	右	1.00×1.00×1		
西牧第2排水樋管	26.940	右	1.50×1.50×1		
塘川樋管	27.200	左	2.25×2.25×1 1.50×1.50×1		

付表6-3 : 樋門・樋管

河川名	施設名	位置 (km)	左右岸	樋管断面 (ヨコ(m)×タテ(m)×連数)	備考
菊池川	西牧第3排水樋管	27.400	右	1.50×1.50×1	
	小原第1排水樋管	27.600	左	3.30×3.30×2	
	小原第2排水樋管	28.000	左	2.50×2.25×1	
	保多田第1樋管	28.550	右	1.00×1.25×1	
	川辺第2排水樋管	29.300	右	1.50×1.50×1	
	川辺排水樋管	29.840	右	3.00×3.00×2	
	鍋田排水樋管	30.275	右	1.80×1.80×1	
	志々岐排水樋管	31.860	左	2.50×2.75×2	志々岐排水機場の自然排水及び吐出部
	宗方第1排水樋管	32.230	右	0.60×0.60×1	
	宗方第2排水樋管	32.600	右	0.60×0.60×1	
	下町第2排水樋管	32.815	右	0.60×0.60×1	
	清流荘排水樋管	32.900	右	1.30×1.10×1	
	南島排水樋管	32.950	左	1.20×1.20×1	
	前田排水樋管	33.100	右	3.00×2.50×1	
	笠仏排水樋管	33.650	左	1.20×1.20×1	
	岩原川排水樋管	33.900	左	3.50×3.50×2	
	古閑用排水樋管	34.650	右	1.50×1.65×1 1.00×1.00×1	
	方保田第2排水樋管	34.765	右	2.50×2.75×1	
	方保田排水樋管	35.500	右	3.75×3.75×2 1.20×1.20×1 1.20×0.80×1	
	日置排水樋管	36.972	右	1.50×1.50×1	
	前田川排水樋管	37.120	右	3.50×3.50×2	
	藤井第1排水樋管	37.800	右	1.50×1.50×1	
	末広排水樋管	38.050	左	1.75×1.75×1	
	藤井第2排水樋管	38.150	右	3.50×3.00×2	
	川北排水樋管	38.615	右	1.50×1.75×1	
	高岸排水樋管	38.833	右	3.00×2.50×1	
	中川排水樋管	39.365	右	2.00×2.00×1	
	川南排水樋管	39.450	左	0.60×0.60×1	
	高島第2排水樋管	39.770	右	3.00×2.75×1	
	菊鹿排水樋管	40.000	左	1.50×1.50×1	
	高島排水樋管	41.300	右	2.25×2.00×1	
	林原排水樋管	41.600	左	4.00×3.50×2	
	合田排水樋管	41.900	左	2.00×1.50×1	
	亀尾排水樋管	42.980	左	2.00×1.70×2	
上杉田排水樋管	44.210	左	1.25×1.20×1		
清水排水樋管	45.310	右	1.50×1.50×1		
東屋敷排水樋管	45.600	左	3.00×1.75×1		
大塚第3排水樋管	45.700	右	0.815×0.755×1		
大塚第2排水樋管	45.850	右	0.80×0.70×1		
木柑子第2排水樋管	46.147	左	1.75×1.50×1		
大塚第1排水樋管	46.176	右	1.00×0.95×1		

付表6-3 : 樋門・樋管

河川名	施設名	位置 (km)	左右岸	樋管断面 (ヨコ(m)×タテ(m)×連数)	備考
菊池川	長田排水樋管	46.420	右	2.50×2.00×1	
	木柑子排水樋管	46.650	左	2.00×2.00×2	
	広瀬排水樋管	46.820	右	1.00×1.00×1	
	村田第1排水樋管	47.150	右	1.00×1.23×1	
	村田第2排水樋管	47.820	右	1.00×1.00×1	
	小出端排水樋管	48.606	右	1.75×1.75×1	
	観音瀬第1排水樋管	48.620	左	1.50×1.50×1	
	深川排水樋管	48.850	右	1.50×1.25×1	
	赤星排水樋管	49.400	左	2.25×2.25×2	
	北宮排水樋管	49.575	右	3.00×1.50×1	
	今排水樋管	49.726	左	1.00×1.00×1	
繁根木川	御用橋排水樋管	0.600	右	0.70×0.60×1	
	繁根木第1排水樋管	0.700	左	0.60×0.60×1	
	繁根木第2排水樋管	0.820	左	0.60×0.60×1	
	繁根木第3排水樋管	0.970	左	2.00×1.50×1	
	繁根木排水樋管	1.050	右	1.00×1.00×1	
	岩崎排水樋管	1.150	右	1.75×1.75×1	
	立願寺排水樋管	1.600	右	2.00×1.30×1	
とみのお排水樋管	2.238	右	3.50×2.30×1		
木葉川	津留第1排水樋管	1.126	左	1.50×1.25×1	
	津留第2排水樋管	1.475	左	1.75×2.00×1	
	茶屋排水樋管	1.630	右	6.00×3.00×3	
岩野川	石第2排水樋管	0.500	左	1.50×1.50×1	
	石下田排水樋管	1.100	左	1.50×1.50×2	
	ちぶさん第1排水樋管	1.500	左	1.50×1.50×1	
	石村排水樋管	1.860	左	1.25×1.25×1	
	棚田排水樋管	2.175	右	2.25×2.00×1	
	八幡排水樋管	2.265	左	2.00×1.75×2	
	八幡第2排水樋管	2.530	左	2.00×1.75×1	
	下津留排水樋管	2.948	左	2.50×2.25×1	
	小鳥排水樋管	3.110	右	2.50×2.50×1	
	舞鶴排水樋管	3.490	左	1.25×1.25×1	
	寺島排水樋管	3.940	左	2.25×2.25×2	
	寺島第2排水樋管	4.150	左	1.25×1.25×1	
宮田排水樋管	4.800	左	1.45×1.50×1		
合志川	木山排水樋管	0.817	右	1.50×1.25×1	
	川久保排水樋管	1.000	右	2.75×2.00×1	
	龍頭排水樋管	1.520	右	3.50×2.50×1	
	芦原排水樋管	1.950	左	0.70×0.70×1	
	上河原第1樋管	2.500	右	2.00×2.00×1	
	山城排水樋管	2.600	左	1.00×1.00×1	
	上河原第2樋管	3.228	右	1.00×1.25×1	
	平島第1排水樋管	3.450	左	0.72×0.825×1	

付表6-3 : 樋門・樋管

河川名	施設名	位置 (km)	左右岸	樋管断面 (ヨコ(m)×タテ(m)×連数)	備考
合志川	野間川樋管	3.629	右	2.50×2.75×2	
	植木第2排水樋管	3.880	右	1.50×1.50×1	
	平島第2排水樋管	3.900	左	1.00×1.00×1	
	米塚排水樋管	4.320	左	2.00×2.00×1	
	伊知坊第1排水樋管	4.375	右	2.00×1.75×1	
	伊知坊排水樋管	4.570	左	1.75×1.50×1	
	伊知坊第2排水樋管	4.961	右	2.25×2.00×1	
	余内排水樋管	5.159	左	1.25×1.25×1	
	舟島第1排水樋管	5.525	右	2.50×2.25×1	
	平井第2排水樋管	5.550	左	1.50×1.25×1	
	平井第3排水樋管	5.775	左	1.00×1.00×1	
	舟島排水樋管	5.958	右	1.25×1.25×1	
	舟島第2排水樋管	6.135	右	1.75×1.50×1	
	舟島第3排水樋管	6.290	右	2.25×2.00×1	
	亀甲第1樋管	6.290	左	1.00×1.00×1	
	亀甲第2樋管	6.300	左	1.25×1.25×1	
	宝田排水樋管	6.765	右	2.00×1.75×1	
	沖田排水樋管	7.313	右	1.75×1.50×1	
	井戸方排水樋管	7.780	左	1.50×1.50×1	
	宝田第2排水樋管	7.800	右	2.50×2.25×2	
	中島第2排水樋管	9.359	左	2.00×1.75×1	
	高江排水樋管	10.000	左	1.50×1.50×1	
高江出分排水樋管	10.100	右	1.50×1.50×1		
迫間川	古閑排水樋管	0.000	右	0.60×0.60×1	
	高田第3排水樋管	0.750	右	2.00×1.75×1	
	高田大町排水樋管	1.100	右	2.25×2.00×1	
	高田排水樋管	2.000	右	2.25×1.75×1	
	荒牧東田排水樋管	2.650	右	2.00×1.75×1	
	荒牧排水樋管	2.930	右	2.25×2.00×1	
	砂田排水樋管	3.700	左	1.25×1.25×1	
	水次第2排水樋管	3.775	右	2.25×2.00×1	
	蟹穴排水樋管	4.050	左	2.00×1.50×1	
	水次排水樋管	4.275	右	2.50×2.25×1	
	山崎排水樋管	4.550	右	2.50×2.25×1	
	野間口樋管	4.600	左	1.50×1.50×1	
	神来排水樋管	5.664	左	2.00×1.75×1	
	袈裟尾排水樋管	6.355	右	1.50×1.50×1	
	玉祥寺第1排水樋管	7.290	右	1.00×1.25×1	
	玉祥寺第2排水樋管	7.980	右	1.25×1.00×1	
上内田川	下梶屋排水樋管	0.550	右	0.66×0.75×1	
	寺町排水樋管	0.940	左	1.25×1.25×1	

付表6-4 : 排水機場

河川名	施設名	位置 (km)	左右岸	排水量 (m ³ /s)	備考
菊池川	玉名排水機場	8.050	右	5.0	2.50m ³ /S×2
	志々岐排水機場	31.860	左	3.0	1.50m ³ /S×2
	江栗排水機場	20.893	右	1.5	0.75m ³ /S×2

付表7 : 河川利用推進施設

河川名	区間 (km~km)	左右岸	主な設備等	備考 (施設管理者)
菊池川	14k100~14k700	左	管理用通路(遊歩道)、低水護岸、坂路等	和水町、菊池川河川事務所
	31k800~33k400	左	管理用通路(遊歩道)、階段、低水護岸、坂路等	山鹿市、菊池川河川事務所
	38k800~39k300	左	管理用通路(遊歩道)、階段、坂路等	山鹿市、菊池川河川事務所
繁根木川	0k700~2k400	左右	低水護岸(遊歩道)、階段、坂路等	玉名市、菊池川河川事務所
岩野川	0k500~0k800	右	管理用道路(遊歩道)、階段、坂路等	山鹿市、菊池川河川事務所
合志川	3k600~4k400	左右	管理用道路(遊歩道)、階段、坂路等	熊本市、菊池川河川事務所
上内田川	1k200~2k200	右	管理用通路(遊歩道)、階段、坂路等	山鹿市、菊池川河川事務所

付表8-1 : 雨量観測所

観測所名	所在地	種別(テレ・自記)	備考
岳間	熊本県山鹿市鹿北町椎持	テレ、自記、ロガー	
緑	熊本県玉名郡和水町板楠	テレ、自記、ロガー	
内田	熊本県山鹿市菊鹿町矢谷	テレ、自記、ロガー	
木護	熊本県菊池市原	自記、ロガー	
立門	熊本県菊池市原	テレ、自記、ロガー	
城北	熊本県山鹿市菊鹿町松尾	自記、ロガー	
山鹿	熊本県山鹿市山鹿178	テレ、自記、ロガー	
大鶴	熊本県阿蘇市の石	自記	
赤星	熊本県菊池市赤星	テレ、自記、ロガー	
菊水	熊本県玉名郡和水町江田	テレ、自記、ロガー	
千田	熊本県熊本市植木町大字清水	自記	
高瀬	熊本県玉名市大字津留字川端	自記、ロガー	
田原	熊本県熊本市植木町大字豊岡	テレ、自記、ロガー	
平真城	熊本県菊池郡大津町平川	テレ、自記、ロガー	
合志	熊本県合志市豊岡	テレ、自記、ロガー	

付表8-2 : 水位・流量観測所

河川名	観測所名	位置 (km)	観測項目 (水位・流量)	種別 (テレ・自記)	水位計の種類		備 考
					主水位計	副水位計	
菊池川	広瀬	46.880	水位、高水流量、低水流量	テレ、自記	水晶水圧	水晶水圧	水防警報・洪水予報の基準地点
	中富	39.090	水位、高水流量、低水流量	ロガー	水圧式	—	迫間川、上内田川合流後
	分田	37.500	水位、高水流量、低水流量	テレ、自記	水晶水圧	水晶水圧	合志川合流後
	山鹿	32.770	水位、高水流量	テレ、自記	水晶水圧	水晶水圧	水防警報・洪水予報の基準地点、正常流量基準地点
	菰田	23.000	水位、高水流量、低水流量	テレ、自記	水晶水圧	超音波	岩野川合流後、白石堰流入量
	玉名	10.590	水位、高水流量、低水流量	テレ、自記、 ロガー	水晶水圧	水晶水圧	水防警報・洪水予報の基準地点、治水計画上の基準地点
	山鹿下流	31.510	水位、低水流量	テレ、自記	水晶水圧	—	正常流量基準地点の低水流量観測地点
	滑石	1.850	水位	自記、テレ、 ロガー	フロート式	超音波	潮汐状況の把握、高潮状況把握
繁根木川	岩崎	1.950	水位、高水流量、低水流量	テレ、ロガー	超音波	水晶水圧	水防警報の基準地点
木葉川	津留	1.670	水位	テレ、ロガー	超音波	水晶水圧	水防警報の基準地点
岩野川	城	3.250	水位、高水流量、低水流量	テレ、自記	超音波	水晶水圧	水防警報の基準地点
合志川	佐野	7.170	水位、高水流量、低水流量	テレ、自記	超音波	水晶水圧	水防警報・洪水予報の基準地点
	芦原	2.180	水位、高水流量、低水流量	ロガー	水圧式	—	合志川水質基準
迫間川	隈府	7.800	水位、高水流量、低水流量	テレ、ロガー	超音波	水晶水圧	水防警報の基準地点
上内田川	袋田	0.230	水位	テレ、自記	水晶水圧	水晶水圧	水防警報の基準地点

付表8-3 : 地下水位観測所

観測所名	所在地	備考(観測方法)
山鹿No.1	熊本県山鹿市	自記、フロート
山鹿No.2	熊本県山鹿市	自記、フロート

付表8-4 : その他観測所

観測所名	所在地	観測項目	備考(観測方法)
大浜	熊本県玉名市烏帽子	風向・風速	電子ロガ
山鹿	熊本県山鹿市山鹿		電子ロガ
大浜	熊本県玉名市烏帽子	気圧	電子ロガ

* 震度観測点については、付表19に記載

付表9 : 流量観測の実施目安

河川名	流量観測所名	目安となる観測地点	目安となる水位(m)	備考(設定根拠)
菊池川	玉名	玉名	3.50	水防団待機水位
	菰田	山鹿	3.20	
	分田			
	山鹿			
	広瀬	広瀬	1.50	
繁根木川	岩崎	岩崎	1.00	
岩野川	城	城	2.50	
合志川	佐野	佐野	2.00	
迫間川	隈府	隈府	1.00	

付表10：水質調査内容

河川名		菊池川				迫間川	合志川	岩野川	繁根木川		
地点		広瀬	中富	山鹿	白石	高瀬	高田橋	芦原	八幡	永徳寺	
環境基準類型		A	A	A	A	A	A	A	-	-	
環境基準点		-	○	○	○	-	○	○	-	-	
調査項目		回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	
一般項目	天候	4	12	12	12	4	12	12	4	4	
	流量	4	12	12	12	4	12	12	4	4	
	全水深(水位)	4	12	12	12	4	12	12	4	4	
	採水深	4	12	12	12	4	12	12	4	4	
	水温	4	12	12	12	4	12	12	4	4	
	気温	4	12	12	12	4	12	12	4	4	
	透視度(従来型)	4	12	12	12	4	12	12	4	4	
	外観	4	12	12	12	4	12	12	4	4	
	臭気(冷時)	4	12	12	12	4	12	12	4	4	
	pH	4	12	12	12	4	12	12	4	4	
生活環境項目	DO	4	12	12	12	4	12	12	4	4	
	BOD	4	12	12	12	4	12	12	4	4	
	COD	4	12	12	12	4	12	12	4	4	
	SS	4	12	12	12	4	12	12	4	4	
	大腸菌数		4	4	4		4	4			
	亜鉛				4		4	4			
	総窒素		4	4	4	4	4	4			
	総リン		4	4	4	4	4	4			
	ノニルフェノール		1	1	1		1	1			
	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(LAS)		1	1	1		1	1			
健康項目	カドミウム			1	1						
	全シアン			1	1						
	鉛			1	1						
	六価クロム			1	1						
	ヒ素			1	1					1	
	総水銀			1	1						
	アルキル水銀										
	PCB				1						
	トリクロエチレン			1	1						
	テトラクロエチレン			1	1						
	四塩化炭素			1	1						
	ジクロロメタン			1	1						
	1,2-ジクロロエタン			1	1						
	1,1,1-トリクロロエタン			1	1						
	1,1,2-トリクロロエタン			1	1						
	1,1-ジクロロエチレン			1	1						
	シス-1,2-ジクロロエチレン			1	1						
	1,3-ジクロロプロペン(D-D)			1	1						
	チオラム			1	1						
	シマジン(CAT)			1	1						
	チオベンカルブ(ベンチオカーブ)			1	1						
	ベンゼン			1	1						
	セレン			1	1						
	ほう素				2						
	フッ素				2						
	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素		4	4	4		4	4			
	1,4-ジオキサン				2						
	要監視項目	クロロホルム									
		トランス-1,2-ジクロロエチレン									
		1,2-ジクロロプロパン									
p-ジクロロベンゼン											
イソキサチオン					1						
ダイジリン					1						
フェネチオン(MEP)					1						
イプロチオン					1						
オキシ銅(有機銅)					1						
クロタニール(TPN)					1						
プロピサト					1						
EPN					1						
ジクロロホス(DDVP)					1						
フェブカルブ(BPMC)					1						
イプロホス(BFP)					1						
クロニトロフェン(CNP)					1						
トルエン					1						
キシレン					1						
フタル酸ジエチルヘキシル					1						
ニッケル					1						
モリブデン					1						
アンチモン					1						
4-tert-ブチルフェノール					1						
アニリン					1						
2,4-ジクロロフェノール					1						
PFOS,PFOA				1							
ダイオキシン類				1							
排水基準項目	ヘキサン抽出物質				1						
	フェノール類				1						
	銅				1						
	溶解性鉄				1						
	溶解性マンガン				1						
富栄養化項目	クロム				1						
	アンモニア態窒素		4		4			4			
	亜硝酸態窒素		4	4	4		4	4			
	硝酸態窒素		4	4	4		4	4			
	有機態窒素				4			4			
	オルトリン酸態リン				4			4			
	TOC				4			4			
	クロロフィルa		4		4			4			
河床付着物のクロロフィルa				4			4				
シリカ		4	4	4	4	4	4				
生物	クロロホルム				1						
	フェノール				1						
	ホルムアルデヒド				1						
その他	濁度		4		4						
	電気伝導度	4	12	12	12	4	12	12	4	4	
	塩化物イオン				2						
	陰イオン界面活性剤				4						
	総トリロタン生成能				4						
	2-MIB				4						
	ジオキシ				4						
	CNP				4						
	糞便性大腸菌群数	4	12	12	12	4	12	12	4	4	
	スロア法				1						
大腸菌数				1							

付表11 : 洪水痕跡調査、測量、巡視、点検の実施目安

	受け持ち区間 (km~km)	目安とする 観測所地点	目安とする 水位(m)・流量(m ³ /s)	①洪水痕跡調査、②測量、 ③巡視、④点検	備考 (設定根拠等)
菊池川	0k000~22k400	玉名	5.50m	①洪水痕跡調査 ④点検(堤防)	避難判断水位
	22k400~37k800	山鹿	5.90m		
	37k800~49k800	広瀬	3.00m		
繁根木川	0k000~3k000	岩崎	1.50m		
木葉川	-0k287~1k800	津留	5.10m		
岩野川	0k000~4k800	城	3.60m		
合志川	0k000~10k400	佐野	2.80m		
迫間川	0k000~9k300	隈府	1.60m		
上内田川	0k000~2k200	袋田	3.20m		
菊池川	0k000~22k400	玉名	1,560m ³ /s		
	22k400~37k800	山鹿	1,080m ³ /s		
	37k800~49k800	広瀬	500m ³ /s		
繁根木川	0k000~3k000	岩崎	60m ³ /s		
木葉川	-0k287~1k800	津留	50m ³ /s		
岩野川	0k000~4k800	城	440m ³ /s		
合志川	0k000~10k400	佐野	190m ³ /s		
迫間川	0k000~9k300	隈府	210m ³ /s		
上内田川	0k000~2k200	袋田	300m ³ /s		
菊池川	0k000~22k400	玉名	4.40m	③巡視	氾濫注意水位
	22k400~37k800	山鹿	4.00m		
	37k800~49k800	広瀬	2.70m		
繁根木川	0k000~3k000	岩崎	1.40m		
木葉川	0k000~1k800	津留	4.40m		
岩野川	0k000~4k800	城	3.00m		
合志川	0k000~10k400	佐野	2.70m		
迫間川	0k000~9k300	隈府	1.50m		
上内田川	0k000~2k200	袋田	2.60m		

付表12 : 近年の洪水痕跡調査年月

河川名	対象区間 (km~km)	最新調査年月	備 考
菊池川	0k000~22k400	令和2年7月	
	22k400~37k800		
	37k800~49k800		
繁根木川	0k000~3k000	令和2年7月	
木葉川	0k000~1k800	令和2年7月	
岩野川	0k000~4k800	令和2年7月	
合志川	0k000~10k400	平成24年7月	
迫間川	0k000~9k300	令和2年7月	
上内田川	0k000~2k200	令和2年7月	

付表13 : 過去の航空斜め写真撮影(洪水時または洪水直後)

河川名	対象区間 (km~km)	最新撮影年月	備 考
菊池川	0k000~22k400	平成24年2月	
	22k400~37k800		
	37k800~49k800		
繁根木川	0k000~3k000		
木葉川	0k000~1k800		
岩野川	0k000~4k800		
合志川	0k000~10k400		
迫間川	0k000~9k300		
上内田川	0k000~2k200		

付表14 : 過去の縦横断測量年月

河川名	対象区間 (km~km)	測量手法	最新測量年月	備考
菊池川	0k000~22k400	陸部:トータルステーション 水中部:深淺測量	平成31年2月	
	22k400~37k800	陸部:UAVレーザ測量 水中部:深淺測量	平成31年2月	
	37k800~49k800	陸部:UAVレーザ測量 水中部:深淺測量	平成31年2月	
繁根木川	0k000~3k000	陸部:トータルステーション 水中部:深淺測量	平成29年3月	
木葉川	0k000~1k800	陸部:トータルステーション 水中部:深淺測量	平成29年3月	
岩野川	0k000~4k800	陸部:トータルステーション 水中部:深淺測量	平成30年3月	
合志川	0k000~10k400	陸部:トータルステーション 水中部:深淺測量	平成31年3月	
迫間川	0k000~9k300	陸部:トータルステーション 水中部:深淺測量	平成30年3月	
上内田川	0k000~2k200	陸部:トータルステーション 水中部:深淺測量	平成31年2月	

付表15 : 過去の地形測量年月

河川名	対象区間 (km~km)	最新測量年月	図化の有無	備考
菊池川	0k000~22k400	令和3年3月	無	
	22k400~37k800			
	37k800~49k800			
繁根木川	0k000~3k000			
木葉川	0k000~1k800			
岩野川	0k000~4k800			
合志川	0k000~10k400			
迫間川	0k000~9k300			
上内田川	0k000~2k200			

付表16 : 過去の河床材料調査年月

河川名	対象区間 (km~km)	最新調査年月	備 考
菊池川	0k000~49k800	平成25年7月	
繁根木川	0k000~3k000	平成25年7月	
木葉川	0k000~1k800		
岩野川	0k000~4k800		
合志川	0k000~10k400		
迫間川	0k000~9k300		
上内田川	0k000~2k200		

付表17 : 過去の河道内樹木調査・砂州調査年月

※過去の航空斜め写真撮影(平常時)

河川名	対象区間 (km~km)	最新撮影年月	地上調査の有無	備 考	
菊池川	0k000~22k400	令和2年3月	無		
	22k400~37k800				
	37k800~49k800				
繁根木川	0k000~3k000				
木葉川	0k000~1k800				
岩野川	0k000~4k800				
合志川	0k000~10k400				
迫間川	0k000~9k300				
上内田川	0k000~2k200				

付表18 : 河川水辺の国勢調査

調査種別	河川名	最新調査年度	備考(調査時期)			
			春	夏	秋	冬
魚類	菊池川	平成29年度	○	○	○	
	繁根木川					
	木葉川					
	岩野川					
	合志川					
	迫間川					
	上内田川					
底生生物	菊池川	平成31年度		○	○	早春
	繁根木川					
	木葉川					
	岩野川					
	合志川					
	迫間川					
	上内田川					
植物	菊池川	令和2年度	○	○	○	
	岩野川					
	合志川					
	迫間川					
両生類、哺乳類、爬虫類	菊池川	令和3年度	○	○	○	○
	岩野川					
	合志川					
	迫間川					
陸上昆虫類等	菊池川	平成31年度	○	○	○	
	岩野川					
	合志川					
	迫間川					
鳥類	菊池川	平成26年度	○	○		○
	岩野川					
	合志川					
	迫間川					
	上内田川					
河川環境基図作成	—	平成30年度			○	

付表19 : 地震後の点検の実施目安

目安の観測地点	河川名	受け持ち区間 (km~km)	備考	
玉名市築地	菊池川	(右岸)0.000~23.900 (左岸)0.000~26.500	玉名出張所管内	
玉名市岱明町				
玉名市横島町	繁根木川	0.000~3.000		
和水町江田	木葉川	0.000~1.800		
和水町板楠				
山鹿市山鹿	菊池川	(右岸)23.900~49.800 (左岸)26.500~49.800		山鹿出張所管内
植木町岩野				
菊池市泗水町	岩野川	0.000~4.900		
山鹿市鹿本町	合志川	0.000~10.400		
菊池市七城町	上内田川	0.000~2.300		
菊池市隈府	迫間川	0.000~9.300		
山鹿市菊鹿町				

付表20 : 機械設備の点検

河川名	施設名	位置 (km)	左右岸	点検区分			備考
				専門技術者		操作従事者	
				月点検	年点検	月点検	
菊池川	寺田水門	9.740	左	○	○	○	水門
	菰入水門	42.700	右	○	○	○	水門
	山鹿大堰	31.960	—	○	○	○	堰
	加恵堰	42.405	—	○	○	○	堰
	塩永排水樋管	3.700	左		○	○	
	牟田排水樋管	4.300	左		○	○	
	葭原排水樋管	4.600	左		○	○	
	永徳寺排水樋管	6.210	右		○	○	
	高瀬排水樋管	7.490	右		○	○	
	裏川排水樋門	8.050	右		○	○	
	秋丸排水樋管	8.670	右		○	○	
	白羽根排水樋管	10.150	左		○	○	
	元玉名第1排水樋管	11.980	右		○	○	
	竹下排水樋管	12.000	左		○	○	
	元玉名排水樋管	12.550	右		○	○	
	青木排水樋管	12.650	右		○	○	
	三蔵川樋門	13.080	右		○	○	
	溝上排水樋管	13.705	右		○	○	
	松坂排水樋管	14.040	左		○	○	
	長田川排水樋管	14.410	右		○	○	
	月田第1排水樋管	15.200	右		○	○	
	月田第2排水樋管	16.080	右		○	○	
	大江田排水樋管	16.600	左		○	○	
	藤田排水樋管	17.460	左		○	○	
	内田排水樋管	17.510	右		○	○	
	長小田第1排水樋管	17.650	右		○	○	
	長小田第2排水樋管	18.350	右		○	○	
	竈門第2排水樋管	19.960	左		○	○	
	江栗第1排水樋管	20.435	右		○	○	
	江栗第2排水樋管	20.729	右		○	○	
	江栗第3排水樋管	20.890	右		○	○	
	江栗第4排水樋管	21.024	右		○	○	
	江栗第5排水樋管	21.266	右		○	○	
下津原第1排水樋管	22.150	左		○	○		
下津原第2排水樋管	22.600	左		○	○		
菰田第1排水樋管	22.950	右		○	○		
菰田第2排水樋管	23.150	右		○	○		
菰田第3排水樋管	23.616	右		○	○		
椿井第1排水樋管	23.935	右		○	○		
椿井第2排水樋管	24.340	右		○	○		
椿井第3排水樋管	25.100	右		○	○		
焼米大屋排水樋管	26.026	左		○	○		
村の下排水樋管	26.460	右		○	○		
坂田排水樋管	26.800	左		○	○		

付表20 : 機械設備の点検

河川名	施設名	位置 (km)	左右岸	点検区分			備考
				専門技術者		操作従事者	
				月点検	年点検	月点検	
菊池川	西牧第1排水樋管	26.805	右		○	○	
	西牧第2排水樋管	26.940	右		○	○	
	塘川樋管	27.200	左		○	○	
	西牧第3排水樋管	27.400	右		○	○	
	小原第1排水樋管	27.600	左		○	○	
	小原第2排水樋管	28.000	左		○	○	
	保多田第1樋管	28.550	右		○	○	
	川辺第2排水樋管	29.300	右		○	○	
	川辺排水樋管	29.840	右		○	○	
	鍋田排水樋管	30.275	右		○	○	
	志々岐排水樋管	31.860	左		○	○	
	宗方第1排水樋管	32.230	右		○	○	
	宗方第2排水樋管	32.600	右		○	○	
	下町第2排水樋管	32.815	右		○	○	
	清流荘排水樋管	32.900	右		○	○	
	南島排水樋管	32.950	左		○	○	
	前田排水樋管	33.100	右		○	○	
	笠仏排水樋管	33.650	左		○	○	
	岩原川排水樋管	33.900	左		○	○	
	古閑用排水樋管	34.650	右		○	○	
	方保田第2排水樋管	34.765	右		○	○	
	方保田排水樋管	35.500	右		○	○	
	日置排水樋管	36.972	右		○	○	
	前田川排水樋管	37.120	右		○	○	
	藤井第1排水樋管	37.800	右		○	○	
	末広排水樋管	38.050	左		○	○	
	藤井第2排水樋管	38.150	右		○	○	
	川北排水樋管	38.615	右				覚書有り
	高岸排水樋管	38.833	右		○	○	
	中川排水樋管	39.365	右		○	○	
	川南排水樋管	39.450	左		○	○	
	高島第2排水樋管	39.770	右		○	○	
	菊鹿排水樋管	40.000	左		○	○	
	高島排水樋管	41.300	右		○	○	
林原排水樋管	41.600	左		○	○		
合田排水樋管	41.900	左		○	○		
亀尾排水樋管	42.980	左		○	○		
上杉田排水樋管	44.210	左		○	○		
清水排水樋管	45.310	右		○	○		
東屋敷排水樋管	45.600	左		○	○		
大塚第3排水樋管	45.700	右		○	○		
大塚第2排水樋管	45.850	右		○	○		
木柑子第2排水樋管	46.147	左		○	○		
大塚第1排水樋管	46.176	右		○	○		

付表20 : 機械設備の点検

河川名	施設名	位置 (km)	左右岸	点検区分			備考
				専門技術者		操作従事者	
				月点検	年点検	月点検	
菊池川	長田排水樋管	46.420	右		○	○	
	木柑子排水樋管	46.650	左		○	○	
	広瀬排水樋管	46.820	右		○	○	
	村田第1排水樋管	47.150	右		○	○	
	村田第2排水樋管	47.820	右		○	○	
	小出端排水樋管	48.606	右				覚書有り
	観音瀬第1排水樋管	48.620	左		○	○	
	深川排水樋管	48.850	右		○	○	
	赤星排水樋管	49.400	左		○	○	
	北宮排水樋管	49.575	右		○	○	
	今排水樋管	49.726	左		○	○	
	玉名排水機場	8.050	右	○	○	○	排水機場
	志々岐排水機場	31.860	左	○	○	○	排水機場
	江栗排水機場	20.893	右	○	○	○	排水機場
繁根木川	御用橋排水樋管	0.600	右		○	○	
	繁根木第1排水樋管	0.700	左		○	○	
	繁根木第2排水樋管	0.820	左		○	○	
	繁根木第3排水樋管	0.970	左		○	○	
	繁根木排水樋管	1.050	右		○	○	
	岩崎排水樋管	1.150	右		○	○	
	立願寺排水樋管	1.600	右		○	○	
とみのお排水樋管	2.238	右		○	○		
木葉川	津留第1排水樋管	1.126	左		○	○	
	津留第2排水樋管	1.475	左		○	○	
	茶屋排水樋管	1.630	右		○	○	
岩野川	石第2排水樋管	0.500	左		○	○	
	石下田排水樋管	1.100	左		○	○	
	ちぶさん第1排水樋管	1.500	左		○	○	
	石村排水樋管	1.860	左		○	○	
	棚田排水樋管	2.175	右		○	○	
	八幡排水樋管	2.265	左		○	○	
	八幡第2排水樋管	2.530	左		○	○	
	下津留排水樋管	2.948	左		○	○	
	小鳥排水樋管	3.110	右		○	○	
	舞鶴排水樋管	3.490	左		○	○	
	寺島排水樋管	3.940	左		○	○	
寺島第2排水樋管	4.150	左		○	○		
宮田排水樋管	4.800	左		○	○		
合志川	木山排水樋管	0.817	右		○	○	
	川久保排水樋管	1k000	右		○	○	
	龍頭排水樋管	1.520	右		○	○	
	芦原排水樋管	1.950	左		○	○	
	上河原第1樋管	2.500	右		○	○	
	山城排水樋管	2.600	左		○	○	

付表20 : 機械設備の点検

河川名	施設名	位置 (km)	左右岸	点検区分			備考
				専門技術者		操作従事者	
				月点検	年点検	月点検	
合志川	上河原第2樋管	3.228	右		○	○	
	平島第1排水樋管	3.450	左		○	○	
	野間川樋管	3.629	右		○	○	
	植木第2排水樋管	3.880	右		○	○	
	平島第2排水樋管	3.900	左		○	○	
	米塚排水樋管	4.320	左		○	○	
	伊知坊第1排水樋管	4.375	右		○	○	
	伊知坊排水樋管	4.570	左		○	○	
	伊知坊第2排水樋管	4.961	右		○	○	
	余内排水樋管	5.159	左		○	○	
	舟島第1排水樋管	5.525	右		○	○	
	平井第2排水樋管	5.550	左		○	○	
	平井第3排水樋管	5.775	左		○	○	
	舟島排水樋管	5.958	右		○	○	
	舟島第2排水樋管	6.135	右		○	○	
	舟島第3排水樋管	6.290	右		○	○	
	亀甲第1樋管	6.290	左		○	○	
	亀甲第2樋管	6.300	左		○	○	
	宝田排水樋管	6.765	右		○	○	
	沖田排水樋管	7.313	右		○	○	
	井戸方排水樋管	7.780	左		○	○	
	宝田第2排水樋管	7.800	右		○	○	
	中島第2排水樋管	9.359	左		○	○	
	高江排水樋管	10.000	左		○	○	
高江出分排水樋管	10.100	右		○	○		
迫間川	古閑排水樋管	0.000	右		○	○	
	高田第3排水樋管	0.750	右		○	○	
	高田大町排水樋管	1.100	右		○	○	
	高田排水樋管	2.000	右		○	○	
	荒牧東田排水樋管	2.650	右		○	○	
	荒牧排水樋管	2.930	右		○	○	
	砂田排水樋管	3.700	左		○	○	
	水次第2排水樋管	3.775	右				覚書有り
	蟹穴排水樋管	4.050	左		○	○	
	水次排水樋管	4.275	右		○	○	
	山崎排水樋管	4.550	右		○	○	
	野間口樋管	4.600	左		○	○	
	神来排水樋管	5.664	左		○	○	
	袈裟尾排水樋管	6.355	右		○	○	
	玉祥寺第1排水樋管	7.290	右		○	○	
	玉祥寺第2排水樋管	7.980	右		○	○	
	上内田川	下梶屋排水樋管	0.550	右		○	○
寺町排水樋管		0.940	左		○	○	

付表21 : 樋門等構造物周辺堤防の詳細点検

河川名	実施予定 施設名	距離標 (km)	左右岸	実施 予定年度	備 考
菊池川	高瀬排水樋管	7.490	右	令和5年度	
	江栗第5排水樋管	21.266	右		
	菰田第1排水樋管	22.150	右		
	菰田第3排水樋管	23.616	右		
	西牧第2排水樋管	26.940	右		
	川辺排水樋管	29.840	右		
	前田排水樋管	33.100	右		
	藤井第1排水樋管	37.800	右		
	藤井第2排水樋管	38.150	右		
	高島第2排水樋管	39.770	右		
	寺田水門	9.740	左		
	焼米大屋排水樋管	26.026	左		
	塘川排水樋管	27.200	左		
木葉川	津留第1排水樋管	1.126	左		
	津留第2排水樋管	1.475	左		
合志川	井戸方排水樋管	7.780	左		

付表22-1 : 橋梁

河川名	橋梁名	橋長 (m)	設置者	備考
菊池川	新大浜橋	392.9	熊本県知事	
	大浜橋	41.87	熊本県知事	
	小島橋	266.2	玉名市長	
	高瀬川橋	287.4	九州旅客鉄道(株)熊本鉄道事業部長	
	高瀬大橋	297.5	九州地方整備局長	
	菊池川大橋	252.5	九州地方整備局長	
	寺田橋	32.8	玉名市長	
	九州新幹線 菊池川橋梁	400	独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援 機構 鉄道建設本部九州新幹線建設局長	
	玉名橋	250.6	熊本県知事	
	玉杵名大橋	252.5	熊本県知事	
	内藤橋	168	熊本県知事	
	菊池川橋	242.25	西日本高速道路(株)九州支社	
	竈門大橋	261.5	熊本県知事	
	菰田橋	130.5	熊本県知事	
	山鹿西部大橋	207	山鹿市長	
	山鹿大堰橋	209.4	熊本県知事	
	山鹿大橋	176	九州地方整備局長	
	山鹿南部大橋	176	山鹿市長	
	分田橋	124	熊本県知事	
	第二分田橋	211.55	熊本県知事	
	中川橋	171.7	熊本県知事	
	橋田大橋	118	菊池市	
	高島橋	110	熊本県知事	
	菰入新橋	100.4	菊池市長	
	宮園橋	104	菊池市長	
	清水橋	65.5	熊本県知事	
大塚橋	89.1	菊池市長		
菊池川橋	65.71	熊本県知事		

付表22-1 : 橋梁

河川名	橋梁名	橋長 (m)	設置者	備考
菊池川	村田橋	98.1	菊池市長	
	菊戸橋	75.74	菊池市長	
	菊池橋	116	熊本県知事	
繁根木川	永徳寺橋	20.9	玉名市長	
	御用橋	35.52	玉名市長	
	繁根木川橋	30.30	九州旅客鉄道(株)熊本鉄道事業部長	
	学校前橋	26.5	玉名市長	
	錦水橋	27	玉名市長	
	下水道管 (水管橋)	24.5	玉名市長	
	横町橋 及び側道橋	25.2	九州地方整備局長	
	錦橋	26.9	玉名市長	
	岩崎橋	28.225	玉名市長	
	立願寺橋	37m	熊本県知事	
	高津原橋	38.02	玉名市長	
	富尾橋	39	九州地方整備局長	
木葉川	昭八橋	51.5	熊本県知事	
	津留橋	34.1	熊本県知事	
	新津留橋	25.1	玉名市長	
	新茶屋橋 (農道橋)	63.51	玉名市長	
岩野川	鍋田橋	114	熊本県知事	
	石村橋 (ちぶさん橋)	120	山鹿市長	
	八幡橋	83	熊本県知事	
	舞鶴橋	90.72	山鹿市長	
合志川	奉迎橋	130	山鹿市長	
	芦原橋	128	植木町長	
	平島橋	99	植木町長	
	米塚橋	92.2	植木町長	
	伊知坊橋	92.603	熊本県知事	

付表22-1 : 橋梁

河川名	橋梁名	橋長 (m)	設置者	備考
合志川	舟島橋	58.5	植木町長	
	平井橋	92.8	熊本県知事	
	宝田橋	88.6	植木町長	
	佐野橋	81.4	熊本県知事	
	聴聞橋	75	菊池市長	
	田島橋	46	熊本県知事	
	高江橋	69.81	菊池市長	
	高江久米橋	77.55	菊池市長	
迫間川	高田橋	102	熊本県知事	
	第2高田橋	88.65	菊池市長	
	西郷橋	88.216	熊本県知事	
	水次橋	60.098	熊本県知事	
	山崎橋	78.7	菊池市長	
	袈裟尾橋	36	菊池市長	
	新袈裟尾橋	58	熊本県知事	
	玉祥寺橋	47.06	菊池市長	
	南田橋	38.5	菊池市長	
	前田橋	25.76	菊池市長	
	西迫間橋	36.5	菊池市長	
上内田川	梶屋橋	44.28	熊本県知事	
	台橋	67.22	熊本県知事	

付表22-2 : 堰

河川名	施設名	位置 (km)	堰長 (m)	ゲート天端高 (T.P.m)	設置者	備考
菊池川	橋田堰	40.800	64.1	25.45	橋田堰利用水利組合	
	加恵堰	42.405	87.6	28.100	加恵水利組合	
	白石堰	14.430	138	7.50	熊本県知事	
	菰入堰	44.810	84.3	31.824	七城町土地改良区	
	長清堰	48.530	106	40.342	菊池市土地改良区	
	菊池堰	49.530	86	43.657	菊池市土地改良区	
繁根木川	繁根木川伏越管	0.400	106.1	—	玉名市長	
	高津原堰	2.040	12.5	6.39	玉名平野土地改良区理事長	
	晩次郎堰	2.520	21.6	7.452	玉名第二土地改良区	
	船島堰	3.000	13.6	8.769	玉名第二土地改良区	
合志川	南島堰	1.430	29.59	23.40	山鹿市土地改良区理事長	
	分田堰	2.969	54.8	25.89	内田川地区土地改良区	
	山城堰	4.215	74.4	28.133	個人	
	平島堰	5.295	38.9	29.899	平島水利組合	
	宝田堰	7.850	10	35.65	宝田井手用水組合長	
迫間川	新田堰	2.450	31.5	29.59	七城町土地改良区	
	ニュー荒野堰	3.850	22	36.41	七城町土地改良区	
	砦・辺田堰	4.730	51	31.814	七城町土地改良区	
	山崎堰	5.875	45.6	45.70	七城町土地改良区	
	大代堰	6.625	40.0	50.56	菊池市土地改良区	

付表22-3 : 樋門・樋管

河川名	施設名	位置 (km)	左右岸	樋管断面 (タテ(m)×ヨコ(m)×連数)	設置者	備考
菊池川	大浜排水樋管	1.600	左	1.5×1.75×2	玉名市長	
	晒排水樋管	2.515	右	2.0×2.5×2	玉名市長	
	小島樋門	4.100	左	4.0×2.6×1	玉名平野土地改良区理事長	
	終末処理場排水樋管	6.070	右	1.5×2.5×2	玉名市長	
	千田排水樋管	6.840	左	1.5×2.65×1 2.25×3.0×1	玉名市長	
	河崎排水樋管	8.500	右	1.5×1.5×3	熊本県知事	
	向津留樋管	8.600	左	φ0.9m×1	玉名市土地改良区理事長	
	工場排水樋管	9.335	右	1.5×1.5×1	ブリジストン熊本工場	
	古閑用水樋管	34.560	右	1.65×1.5×1	山鹿市長	
	藤井、川北第2排水樋管	38.300	右	2.5×2.25×1	熊本県知事	
	林原排水樋管	41.600	左	4.15×3.57×2	菊池市長	
	観音瀬排水樋管	48.300	左	φ1.0m×1	菊池市長	
	木ノ本排水樋管	48.300	右	1.47×2.1×1	菊池市長	
	長清堰取水樋管	48.530	右	1.5×1.0×1	菊池市土地改良区	
	菊池堰用水樋管	49.540	右	3.5×1.5×1	菊池市土地改良区	
	配水管(招扉付)	1.700	左	φ0.6m×1	玉名市長	
繁根木川	亀甲排水樋管	1.000	右	2.0×2.0×1	玉名市長	
	高津原排水樋管	1.960	右	3.0×1.8×2	玉名市長	
	晩次郎樋管	2.600	左	0.4×0.4×1	玉名市長	
岩野川	城用水樋管	2.820	右	1.25×1.25×1	山鹿市土地改良区理事長	
	小島用水樋管	3.100	右	0.9×0.95×1	山鹿市土地改良区理事長	
合志川	芦原用水樋管	1.485	左	1.25×1.25×1	山鹿市土地改良区理事長	
	知用水樋管	2.515	右	1.0×1.3×2	菊池市長	
	分田用水樋管	3.000	左	1.5×1.85×2	内田川土地改良区	
	平島用水樋管	5.280	右	1.06×1.08×2	平島水利組合	
	宝田用水樋管	7.930	右	1.5×1.5×1	宝田井手用水組合長	
迫間川	大代堰取水樋管	6.470	左	4.3×2.68×2	菊池市土地改良区	
上内田川	台排水樋管	1.390	左	1.2×1.2×1	熊本県知事	

付表22-4 : 排水機場

河川名	施設名	位置 (km)	左右岸	排水量 (m ³ /s)	設置者	備考
菊池川	中古閑地区排水機場	33.090	右	1.63	熊本県知事	0.46(φ300mm×2台) 1.17(φ700mm×1台)
	藤井川北第1排水機場	37.750	右	5.00	熊本県知事	φ1,000mm×2台
	藤井川北第2排水機場	38.400	右	10.67	熊本県知事	φ1,500mm×2台
	加恵高島地区第1排水機場	39.762	右	3.4	熊本県知事	φ700mm×4台
	加恵高島地区第2排水機場	41.300	右	1.52	熊本県知事	φ700mm×2台
繁根木川	岩崎排水機場	1.220	左	3.4	熊本県知事	1.72m ³ /s×2台

付表22-5 : 陸閘

河川名	施設名	位置 (km)	左右岸	設置者	備考
菊池川	烏帽子陸閘ゲート	1.400	左	九州地方整備局長	アルミ製横引ゲート、手動 (4.20m×1.00m×1門)